

令和6年度

事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ 基本理念

一隅を照らす

— 与えられた役割を担って、価値を認められしっかりと存在する —

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ 経営指針

利用者・家族に優しい施設を目指します

(すべてを含め、利用者、家族に優しい)

地域社会への貢献を目指します

(社会福祉法人に求められている一つに地域貢献があり、保育所や小中学校との連携)

施設の充実と発展をめざします

(施設とは、狭義では職員であり、職員の充実が施設の充実になる。職員間の連携を強化し技の向上等資質を高めていく)

平成17年1月4日 社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ
理事長 武政 茂子

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ サービス方針

■ 特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム

Sweet service (スウィート サービス)

(良きサービスは残しつつ、一歩先のやさしいサービスを提供します)

Heart to heart (ハート トゥ ハート)

(すべてのことに心のこもったサービスを提供します)

Home away from home (ホーム アウェイ フロム ホーム)

(第二の我が家のような居心地のよいサービスを提供します)

■ デイサービスセンター サムフォット

Service And Management For Old Timers

(齢を重ねゆく方々に心のこもったサービスと手助けを)

■ 居宅介護支援事業所 ポム

Peace Of Mind

(心からの安心をあなたに)

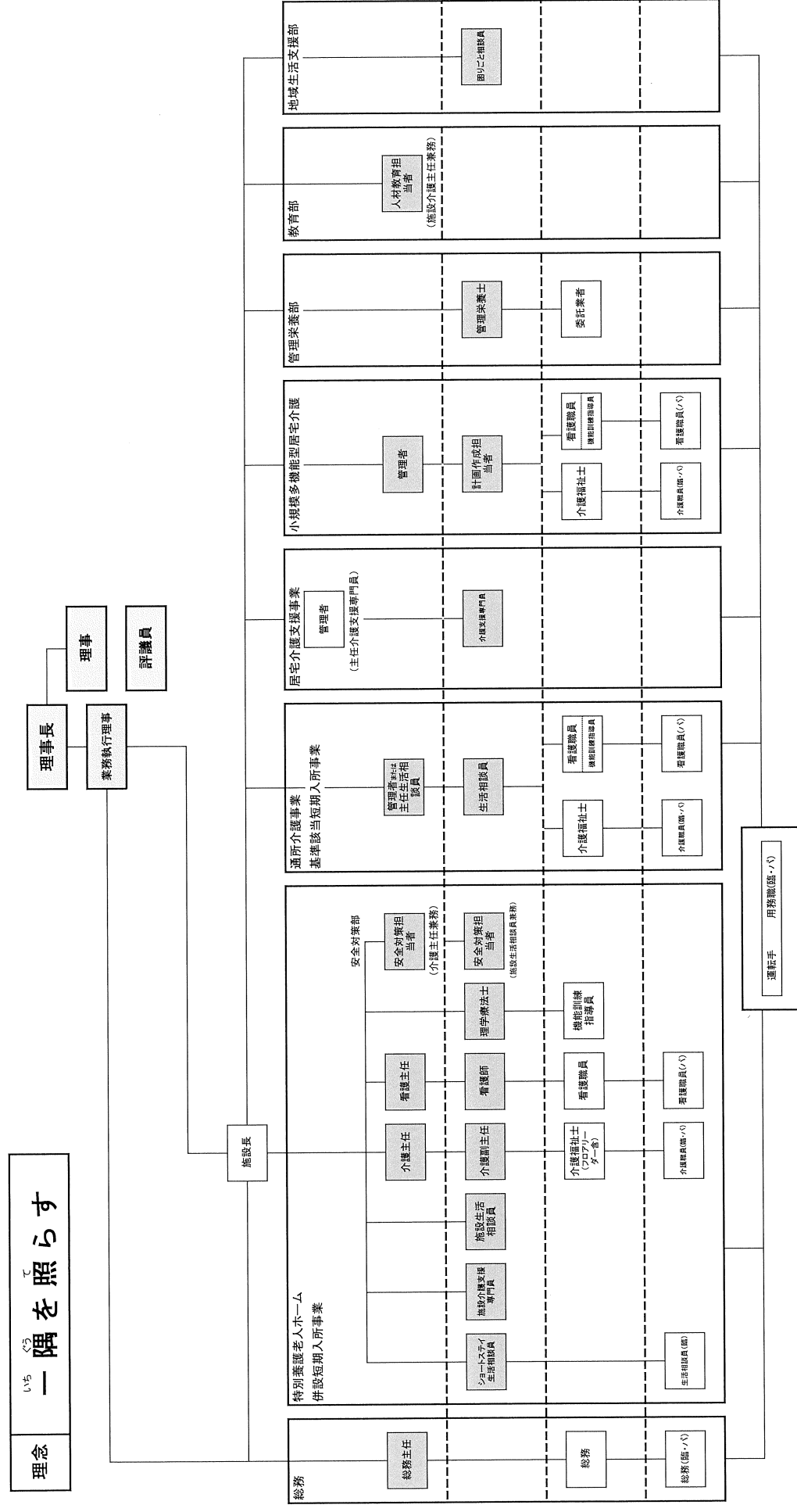
■ 在宅介護支援事業所 サイト

Settle In This Area

(住み慣れた地域で暮らす)

平成26年3月16日 社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ
理事長 武政 茂子

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ 組織図 (令和6年4月1日)



《 法 人 沿 革 》

平成 5 年	3 月 22 日	社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ設立認可
	3 月 25 日	社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ設立登記
	6 月 23 日	建物着工〔日本自転車振興会、高知県、高知市補助金〕 〔医療法人厚洋会寄付〕
平成 6 年	3 月 31 日	建物竣工
	4 月 1 日	高知市在宅介護支援センターかもだ 事業開始 高知市ホームヘルパー 派遣事業開始 特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム 事業開始
	6 月 1 日	ショートステイ 事業開始
	7 月 1 日	デイサービスセンター サムフォット 事業開始
平成 8 年	4 月 1 日	『ホームヘルパーステーションかもだ』と名称変更
平成 9 年	4 月 1 日	デイサービスセンター サムフォットにてホリデイサービス開始
平成 11 年	7 月 31 日	高知市在宅介護支援センターかもだ 事業廃止
平成 12 年	3 月 31 日	高知市ホームヘルパー 派遣事業廃止
平成 12 年	4 月 1 日	介護保険施設として事業開始(3事業)
平成 18 年	4 月 1 日	介護予防サービス事業開始(介護予防通所介護、介護予防短期入所生活介護)
平成 24 年	3 月 1 日	特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム 増床 (特養30床・短期入所生活介護6床)
平成 24 年	6 月 1 日	居宅介護支援事業所 ポム 事業開始
平成 26 年	3 月 24 日	小規模多機能型居宅介護事業所 サイト 事業開始 デイサービスセンター サイト 事業開始 ショートステイセンター サイト 事業開始
平成 28 年	10 月 1 日	高知市介護予防・日常生活支援総合事業 事業開始(通所介護)

《 法 人 概 要 》

【 法 人 名 】	社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ
【代表者役職氏名】	理事長 武政 茂子
【 理 事 数 】	6名
【 監 事 数 】	2名
【 評 議 員 数 】	7名
【事務所の所在地】	〒780-8061 高知県高知市朝倉甲64番地1
【 電 話 番 号 】	088-840-7100(代表)
【 F A X 番 号 】	088-840-7480
【事業の名称・種類】	特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム 介護老人福祉施設 短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護 デイサービスセンター サムフォット 通所介護 第1号通所事業 居宅介護支援事業所 ポム 居宅介護支援 小規模多機能型居宅介護事業所 サイト 小規模多機能型居宅介護 デイサービスセンター サイト 通所介護 第1号通所事業 ショートステイセンター サイト 基準該当短期入所生活介護 基準該当介護予防短期入所生活介護

1. 法人本部

重点目標

(1) 活動アップデートミーティングの取り組みについて

活動アップデートミーティングでは、施設、在宅、総務の3部門に分かれて、各部署の活動内容、進捗状況、課題、成果について毎月意見交換を行っている。このミーティングを通じて、各部署が抱える課題や成功事例を共有し、課題解決に向けた具体的な方策等を検討した。その結果、稼働率の向上や部署間の連携強化につながった。また、介護報酬改定後の影響についても議題とし、現場の状況や対応方針について意見を交わした。

(2) ビジョンクエストフォーラムの取り組みについて

在宅サービス部門の経営改善計画を策定するため、令和7年3月に小規模多機能型居宅介護事業所サイタおよびデイサービス部門（サムフォット・サイタ合同）のビジョンクエストフォーラムを開催した。参加者から広く意見を募り、現場の視点を取り入れた議論を重ねた結果、各事業所の課題を共有し、サービスの質の向上と経営の安定化を目指す経営改善計画を取りまとめることができた。

今後は、計画に基づき段階的に取り組みを進め、進捗を確認しながら柔軟に見直しを図っていくとともに、現場の声を活かした持続可能な在宅サービス体制の構築を目指していく。

(3) 各種委員会活動の取り組みについて

各委員会を定期的に開催し、現場で直面している課題や業務上の問題について継続的に協議を重ね、具体的な対応策や改善策を検討した。現場の声を反映させた実践的な意見交換を行い、職員の安全確保やサービスの質の向上に向けた取り組みを推進した。また、委員会間での情報共有や他部署との連携も積極的に図り、組織全体としての課題解決と業務改善に向けた体制づくりを強化した。

(4) 腰痛予防対策推進委員会（ノーリフティングケア）の取り組みについて

定期的に委員会を開催し、現在所有している福祉用具の管理や腰痛健康調査を実施することで、現場における課題の把握につなげることができた。その結果、各フロアや事業所ごとに具体的な対応策を講じ、現場での取り組みを進めることができています。また、職員を対象とした技術講習も定期的に実施し、介護技術の向上を図る機会を提供した。

一方で、福祉用具の適切な活用方法や介護技術の習熟度には依然として課題が残っており、現場での対応に未熟さを感じる場面もある。そのため、ノーリフティングケアの理念をさらに定着させることを目指し、今後も継続的な研修や実践を通じた取り組みを行っていく必要がある。

(5) 人材の確保・定着に向けた取り組みについて

令和6年度の求人応募者数は42名で、前年より1名増加した。採用者は13名で、採用率は31%だった。このうち6名は人材紹介会社経由で採用しており、紹介料が発生している。

退職者数は前年度の24名から14名に減少した。主な退職理由は人間関係や心身の不調である。退職者数は減少傾向であるが、職場環境の整備と早期フォロー体制の強化が引き続き課題となっている。これらを踏まえ、採用活動の効率化と離職防止策の具体化を進めていく。

また、令和6年度はインドネシアから技能実習生3名を受け入れ、特別養護老人ホームの介護職員として配置した。OJTや日本語学習支援、生活面の支援を通じ、定着と成長を支援している。

(6) 教育体制の整備について

教育委員会については、開催回数は減少したものの、職員の教育・育成については継続して取り組んだ。統一基本ケア動画セミナーを継続契約し、個々の知識や技術の向上を図るとともに、集合研修や動画配信による内部研修も定期的実施した。また、勤務等の都合で参加できなかった職員には、資料配布や動画視聴の機会を設け、研修内容の周知に努めた。さらに、各事業所においてはOJTシートや新人職員育成マニュアルを活用し、現場での教育・育成を継続して行った。

(7) 職員の負担軽減・モチベーションの向上に関する取り組みについて

職員の負担軽減を目的に、生産性向上委員会で勤務時間の見直しなどに関する意見を募り、働きやすい職場環境の整備を進めた結果、退職者数の減少につながった。これにより、職場の環境改善が一定の成果を上げていると考えられる。また、外部研修への参加を通じて職員の知識が深まり、業務への意欲やモチベーションの向上にもつながった。今後も職員の働きやすさを追求し、更なる環境改善を目指していく。

(8) 生産性の向上に関する取組について

業務の洗い出しや見直しについては、現時点では十分に実施できていない状況にある。一方で、スウィート・ハート・ホームでは介護ロボット「排泄サポートリフト」を導入したことで、職員の身体的負担が軽減されたほか、ホールでの見守り体制も強化された。これにより、ノーリフティングケアの実践が進み、安全かつ効率的な介護環境の整備につながっている。

(9) 感染症対策に関する取り組みについて

特別養護老人ホームでは、令和6年4月および令和7年2月に新型コロナウイルス感染症の集団発生があった。当初は施設内で療養対応を行っていたが、予後の悪化により入院が必要となった入居者もいた。また、小規模多機能型居宅介護事業所サイタにおいても、令和6年12月に同様の集団感染が発生し、利用者のみならず職員にも複数の感染が確認されたため、対応に苦慮した。集団感染発生時には、隔離やゾーニング等を徹底し、感染経路の遮断に努めた。特に小規模多機能型居宅介護事業所サイタでは、職員の感染による人員不足が生じたことから、勤務可能な職員と休職が必要な職員を把握し、勤務体制の調整を実施した。

インフルエンザについては、冬季に各事業所で散発的な感染が見られたが、いずれも集団感染には至らなかった。

(10) 非常災害対策に関する取り組みについて

BCP（事業継続計画）の研修・訓練義務化に伴い、複数回の研修を実施し、職員の災害時対応力の向上を図った。シミュレーションを通じて具体的な行動確認や意見交換を行い、物品の保管場所の見直しや不足物資の補充も行うなど、実践的な対策を進めた。

また、避難訓練と安否確認訓練を同時に実施し、LINE を活用して全職員への連絡体制を確認した。加えて、停電時の対応力強化を目的に、カセットボンベ式発電機3台とポータブル電源3台を導入し、設置場所や使用方法を職員に周知した。

(11) 介護報酬改定後の対応について

令和6年4月の介護報酬改定を受け、円滑な事業運営を図るため、改定内容に基づいた対応を計画的に進めた。義務化された事項や各種加算の要件については、進捗状況を定期的に確認し、確実に対応できる体制を整備した。

また、職員の理解と実務対応力を高めるため、必要に応じて外部研修への参加や資料提供を行うなど、組織全体でのスムーズな適応を進めている。

【 理事会開催状況 】

開催年月日	出席者数 ／定数	議 題	理 事 (欠席者氏名)	監事出席有無 (出席者氏名)
令和6年5月30日	4／6	第1号議案 令和5年度 事業報告について 第2号議案 令和5年度 決算報告について (監査報告) 第3号議案 新役員候補者の選任議案の決定について 第4号議案 評議員候補者の推薦について 第5号議案 定時評議員会の招集決定について 第6号議案 就業規則集の変更について 報告 隣接する土地について	竹村 邦夫 浜田 志津香	渡辺 泰方 橋本 誠
令和6年11月14日	5／6	第1号議案 令和6年度 第1回補正予算について 第2号議案 評議員会の招集決定について 報告 執行状況について	市川 博源	橋本 誠 小島 千賀
令和7年3月18日	5／6	第1号議案 令和7年度 事業計画について 第2号議案 令和6年度 第2回補正予算について 第3号議案 令和7年度 当初予算について 第4号議案 就業規則集、経理規程の変更について 第5号議案 評議員会の招集決定について 報告 執行状況について	市川 博源	橋本 誠 小島 千賀

【 評議員会開催状況 】

開催年月日	出席者数 ／定数	議 題	評 議 員 (欠席者氏名)	理事・監事出席有無 (出席者氏名)
令和6年6月17日	6／7	第1号議案 令和5年度 決算報告について (監査報告) 第2号議案 新役員の選任について 第3号議案 就業規則集の変更について 報告 1 令和5年度 事業報告について 報告 2 評議員候補者の推薦について 報告 3 隣接する土地について	公文 素子	武政 茂子 犬丸 佐保 渡辺 泰方 橋本 誠
令和6年11月26日	5／7	第1号議案 令和6年度 第1回補正予算について	原田 春芽 公文 素子	武政 茂子 犬丸 佐保 橋本 誠 小島 千賀
令和7年3月26日	7／7	第1号議案 令和7年度 事業計画について 第2号議案 令和6年度 第2回補正予算について 第3号議案 令和7年度 当初予算について 第4号議案 就業規則集、経理規程の変更について		武政 茂子 犬丸 佐保 橋本 誠 小島 千賀

【職員研修】(施設内)

実施年月		研修会名	研修内容	参加職種
令和6年	4月	職員説明会	令和6年度の目標等	全職種
		非常食を使った炊き出し訓練	炊き出し訓練	全職種
	5月	感染対策委員会 全体研修	食中毒・手洗い研修	全職種
		接遇マナー研修	接遇マナーについて	全職種
	6月	防災訓練	平日昼間想定訓練	全職種
		救命救急講習	AED・心肺蘇生法・応急処置	全職種
	7月	BCP(災害)訓練	起震車体験	全職種
	8月	高齢者虐待防止委員会 全体研修	その人らしさを大切にしたケアを目指して	全職種
		アテントWEBセミナー 動画視聴	介護の快護化に向けた拘縮ケアと予防	特養介護職員
	9月	褥瘡対策委員会 全体研修	ポジショニングのポイントと実践	全職種
	10月	事故防止委員会 全体研修 動画視聴	パラマウントベッドセミナー	全職種
		口腔衛生に関する研修	口腔衛生指導	全職種
	11月	身体拘束廃止委員会 全体研修 動画視聴	不適切ケアについて	全職種
		看取りケア委員会 全体研修 動画視聴	看取りケアについて、看取り期の食事、 看取りケアの口腔衛生	全職種
		認知症ケア研修 動画視聴	認知症状を軽減するかかわり方	全職種
		高齢者施設等感染対策向上 研修	介護施設での感染対策	全職種
	12月	防災訓練	夜間想定訓練	全職種
		BCP(感染)研修・訓練	感染について	全職種
		BCP(災害)研修・訓練	南海トラフ巨大地震安否確認	特養職員
令和7年	1月	褥瘡対策委員会 全体研修 動画視聴	褥瘡を基礎から学ぶ、予防処置	全職種
	2月	医療的ケア委員会 全体研修 動画視聴	胃ろう・吸引について	特養職種
		ハラスメント研修	介護現場におけるハラスメント	全職種
		身体拘束、高齢者虐待防止委員会 全体研修	高齢者虐待防止の実践と解説 身体拘束廃止・防止	全職種
	3月	事故防止委員会 全体研修	介護事故の事例について	全職種
		BCP(災害)研修	BCPについて	全職種

【職員研修】（施設外）

実施月		開催場所	研 修 会 名	研 修 内 容	参加職種
令和6年	4月	高知市西部高齢者センター	令和6年度 西部ブロック会	スーパービジョンを学ぶ	介護支援専門員
		高知市西部高齢者センター	令和6年度 西部ブロック会	主任ケアマネ資質向上研修	介護支援専門員
		あさくら総合市民会館	4月地域包括ケア研修		介護支援専門員
		朝倉総合市民会館	令和6年度高知県福祉・介護職員合同入職式	・記念式典 ・新任職員研修 ・先輩職員との座談会	介護職員
		高知市西部健康福祉センター	高知市居宅介護支援協議会総会	健康で幸せに長生きできる高知市を目指して	介護支援専門員
		オンライン	ほのぼのNEXT改正対応説明会	R6.4月介護報酬改定に対する請求方法について	総務職員
		ふくし交流プラザ	令和6年度 高知県老人福祉施設協議会JS次世代委員会 総会	・令和5年度事業報告について ・令和6年度事業計画(案)について ・講演「新型コロナウイルス感染症の5類後の対応方法について」	管理者 総務主任
	5月	西部健康福祉センター	5月 地域包括ケア研修		介護支援専門員
		西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
		西部健康福祉センター	多様性の時代の介護支援専門員		介護支援専門員
		西部健康福祉センター	令和6年度 西部ブロック会	介護報酬改定	介護支援専門員
	6月	ふくし交流プラザ	令和6年度高知県認知症介護実践研修「実践者研修」	・施設、在宅に関わらず、認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を修得する	介護職員
		オンライン	急変への気づきと対応	急変が起こる前からのご利用者の体調の変化や、急変時の観察の仕方、またスムーズに医療に繋ぐことができるよう急変対応マネージメントについて学ぶ。	介護職員
		オンライン	DX & GX～AI 変化を味方にする次の一手	AI時代のはたらき方とセキュリティ対策	総務職員
		あさくら総合市民会館	6月地域包括ケア研修		介護支援専門員
		西部健康福祉センター	6月 西部ブロック会	防災について	介護支援専門員
		西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
		オンライン	権利擁護	尊厳の保持と自立支援、不適切ケアや虐待の防止など、知っておかなければならない権利擁護の基本知識を習得する。	介護職員
	7月	ふくし交流プラザ	高知県高齢者虐待防止・権利擁護研修	・行政説明「高知県における高齢者虐待の現状と課題」 ・講義・演習 「権利擁護と高齢者虐待防止」 「高齢者虐待防止に向けた具体的な取組」 「身体拘束ゼロ、虐待防止のための組織としての取組」	介護支援専門員 管理者
		西部健康福祉センター	7月 西部ブロック会	プライバシー保護について	介護支援専門員
		西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
		オンライン	高知県老老協リスクマネジメント研修会	[第2部]自然災害に関する業務継続計画(BCP)	介護主任 管理者
		高知市保健福祉センター	高知市ケアマネジメント研修会	ケアマネジメントの質をあげる面接技法 ～本人の意欲を引き出す質問力をみにつける～	介護支援専門員
		動画視聴	令和6年度経営戦略セミナー(第一弾)	解説動画:生産性向上推進体制加算(Ⅱ)	全職員
	8月	総合あんしんセンター	高知市における「入・退院時の引継ぎルール」	高知市における「入・退院時の引継ぎルール」の運用に関する点検協議	介護支援専門員
		西部健康福祉センター	8月 西部ブロック会	認知症をテーマとした多職種連携研修	介護支援専門員
		西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
		オンライン	ほのぼのNEXT改正対応説明会	8月改正、新LIFE対応版 8月からの基準費用額(居住費)変更に伴う注意点 LIFE対応の概要	総務職員
		朝倉総合市民会館	8月 地域包括ケア研修	閉じこもりの息子と二人暮らしをしている要支援1の女性の支援	介護支援専門員
	9月	ふくし交流プラザ	令和6年度 介護福祉士会 倫理研修	介護現場における「虐待防止と職業倫理」	介護福祉士
		ふくし交流プラザ	令和6年度高知県福祉・介護新任職員フォローアップ研修	「コミュニケーションの基本 そのいち ～利用者、家族とのコミュニケーションの必要性やポイント～」 ・講義 ・座談会(グループディスカッション)	介護職員
		高知県看護協会会館	令和6年度「感染管理担当者研修」	新興感染症をはじめとする感染症予防対策を、自施設および地域の医療機関等において実践・推進し、感染対策のリーダーシップを発揮できる人材の育成研修 ・講義:感染予防対策の基礎知識 ・演習:感染予防の実践	看護主任
		Zoom	高知県における民間身元保証サービスについて		介護支援専門員
		あんしんセンター	医師・訪問看護・ケアマネとの交流会		介護支援専門員
		Zoom	認知症スキルアップ勉強会	・認知症の基本的な病状理解と、アセスメントのポイント ・専門医を含めた多機関協働による認知症の人の在宅支援について	介護支援専門員
		ふくし交流プラザ	令和6年防災士養成研修	災害の発生時に、正しい知識に基づき的確な判断ができる「防災士」を養成し、県内の社会福祉法人・施設等の職員が、地域の防災、減災活動において主導的な役割を果たしていくことを目的とする。	介護職員

10月	ふくし交流プラザ	令和6年度高知県小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	計画作成担当者となる者が、利用登録者に関する支援計画を適切に作成する上で必要な知識・技術を身に付けることにより、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。	介護支援専門員
	ふくし交流プラザ	令和6年度第1回高知県福祉・介護若手職員研修及び交流会	「若手職員が誇りを持って働くための専門性とは何か？～理想と現実の差を埋める対人援助法について～」 ・講義 ・交流会(グループディスカッション)	介護職員
	三翠園	令和6年度高知県老施協 中間管理職研修会	介護現場に求められる生産性向上 ～ICT機器の導入等必要性について～	介護主任 フロアリーダー
	総合あんしんセンター	高知市医師会 第2回認知症講演会	診断後支援の取組とBPSDに対する治療を改めて考える	管理者
	あさくら総合市民会館	10月地域包括ケア研修		介護支援専門員
	高知会館	高知市と高知県老人福祉施設協議会(高知市内施設)との意見交換会		施設長
	動画配信	自立支援総合研修 ～認知症・BPSDについて～	認知症症状を軽減する関わり方 1. 日本の状況と薬剤治療に関する留意事項 2. 認知症の人の行動等の理解～本人の体験を理解すること～ 3. かかわりから生じるBPSD(認知症の行動・心理症状) 4. 病棟や施設フロアでの環境調整	全職員
	Zoom	介護事業者向け 実効性のある業務継続計画にするための研修	BCPの見直しポイント	総務職員
	総合あんしんセンター	令和6年度 難病学習会	筋萎縮性側索硬化症 進行に伴う意思決定支援の重要性	管理者 介護支援専門員
	Zoom	令和6年度 高知市ケアマネジメント研修会	高齢者に多い疾患別ケア「整形疾患編」	介護支援専門員
	西部健康福祉センター	10月 西部ブロック会	感染症について	介護支援専門員
	西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
11月	西部健康福祉センター	11月地域包括ケア会議		介護支援専門員
	かるぽーと	防災研修会	・被災地でのケアマネの実態 ・シミュレーション訓練	管理者 介護支援専門員
	春野あじさい会館	11月地域包括ケア会議		介護支援専門員
	国立病院機構高知病院	第195回高知病診連携フォーラム	ノロウイルス感染対策と汚物処理方法	管理者
	西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
	春野あじさい会館	ケアマネジメント研修	事例検討の指導について	介護支援専門員
12月	菜の花診療所	認知症の人の地域生活を支える視点と方法		介護支援専門員
	輝	12月地域包括ケア会議		介護支援専門員
	朝倉総合市民会館	12月地域包括ケア会議		介護支援専門員
	Zoom	仕事と介護の両立		介護支援専門員
	かるぽーと	若年性認知症フォーラム		介護支援専門員
	ふくし交流プラザ	令和6年度第2回高知県福祉・介護新任職員フォローアップ研修	「コミュニケーションの基本 その1 ～チームメンバーとのコミュニケーション～」 ・講義 ・座談会(グループディスカッション)	介護職員
	西部健康福祉センター	12月 西部ブロック会	障害福祉サービスについて	介護支援専門員
	西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
	ふくし交流プラザ	第1回 中央Bブロック 栄養士勉強会	①加算の状況について ②行政に質問、確認したい事項について ③意見交換	管理栄養士
	Zoom	認定調査現任研修		介護支援専門員

令和7年	1月	オンデマンド配信	社会福祉法人会計実務セミナー	事業継続のために知っておくべき固定資産会計～複眼的視点で、経営環境変化と施設老朽化を考える～	業務執行理事
		西部健康福祉センター	1月 西部ブロック会	高齢者虐待対応におけるケアマネとの連携	介護支援専門員
		西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
		湯の里	1月地域ケア会議		介護支援専門員
		あんしんセンター	難病学習会	パーキンソン病	介護支援専門員
		高知会館	高知県老人福祉施設協議会 事務職員研修会	1日目 講演Ⅰ「介護施設におけるキャッシュレスとは(仮)」 グループワーク 東・中央A・B合同ブロック会 2日目 講演・グループワーク 「介護施設におけるカスタマーハラスメントについて」 情報提供	総務主任 総務職員
		西部健康福祉センター	1月地域ケア会議		介護支援専門員
		Zoom	精神疾患研修		介護支援専門員
		サンポート高松	四国老施協セミナー	・中央情勢報告 ・講演Ⅰ「生産性向上の取組を進めるためのポイント」 ・シンポジウム「生産性向上に向けた実践から学ぶ」 ・講演Ⅱ「介護施設の紛争予防と事業継続に向けた対応策」 ・講演Ⅲ「今後介護施設が目指すべきあり方の理想像とは」	施設長 介護リーダー 介護リーダー 生活相談員
	2月	西部健康福祉センター	2月 西部ブロック会	難病患者への支援について (難病患者と家族のためのガイドブックの活用等)	介護支援専門員
		西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
		朝倉総合市民会館	2月地域ケア会議		介護支援専門員
		つむぐ	2月地域ケア会議		介護支援専門員
		Zoom	事例で学ぶ 高齢者虐待防止の実践と解説セミナー	・虐待通報した後の流れは？ ・高齢者虐待防止法におけるケアマネの仕事とは？ ・報酬減産にならないためにやっておくべきことは？	管理者
		リコージャパン株式会社 高知支店	RICHO Value Presentation 2024 2.0 in KOCHI ～未来を創る人材を探して～	RPAへの不安をまるっと解決！RPA導入不安解消セミナー	管理者 介護支援専門員
		オンライン	タイムマネジメント研修	タイムマネジメントの重要性を認識するとともに、仕事の整理、見える化及び業務の改善などを進め、段取り力を向上する具体的な手法を学ぶ。	管理者 介護リーダー
		オンライン	メンバーシップリーダー研修	福祉・介護現場に従事しチーム作りに関わる方を対象に、職員一人一人が能力を発揮できる「メンバーシップ型」チーム運営について紹介し、その考え方や組織での展開に向けた基本知識を習得する。	介護リーダー
		オンライン	高齢者虐待の防止に関する研修	事例で学ぶ 高齢者虐待防止の実践と解説セミナー	管理者
		高知城ホール	第4回研修会	講演：「高知新聞社ビジネス講座」～親しみが得られるコミュニケーション力を身に付ける～ 1.相手に寄り添う聞き方、話し方 2.報告書の書き方	管理栄養士
		ふくし交流プラザ	令和7年度社会福祉施設総合保険制度説明会	・説明「令和7年度社会福祉施設総合保険制度説明会について」 ・事故対応、事故防止活動ミニリスクマネジメント研修	生活相談員 総務職員
		あんしんセンター	西部地域医療カンファレンス	安心して暮らせる地域を目指して	介護支援専門員
		とりごえカフェ	2月地域ケア会議		介護支援専門員
		ふくし交流プラザ	令和6年度高知県介護福祉士会青年部NEXT勉強会	サービスの在り方を見直そう！ ～広い視点を持って利用者のニーズを考える～	管理者 生活相談員
	3月	ふくし交流プラザ	令和7年度 高知県老協 介護支援専門員・生活相談員研修会	講演：「変貌する運営指導対策と令和7年度までにやるべきこと」	介護支援専門員 生活相談員
		ふくし交流プラザ	令和6年度 高知県老人福祉施設協議会 栄養士研修会	・講演Ⅰ「機能訓練、口腔、栄養の一体的な取組みについて～一体的計画書の事例を踏まえて～」 ・講演Ⅱ「嚥下障害の基礎」	管理栄養士 機能訓練指導員 介護主任 介護職員 介護職員 総務主任 看護主任 生活相談員 介護リーダー
		ふくし交流プラザ	令和6年度 高知県老人福祉施設協議会 JS次世代委員会第2回総会	・ブロック別会議 ・総会 ・グループワーク	
		動画受講	令和6年度 給食関係者研修会	①給食施設従事者への教育の視点で衛生管理計画を振り返る ②給食施設における災害時の備えについて ③栄養管理に関する情報共有	管理栄養士
		西部健康福祉センター	3月 西部ブロック会	・R6年度ブロック会報告 ・意見交換会 ・シャドーワークについて	介護支援専門員
		西部健康福祉センター	主任ケアマネ資質向上研修		介護支援専門員
		Youtube 高知市公式チャンネル	難病学習会	多系統萎縮症	介護支援専門員
		ふくし交流プラザ	高知県キャラバン・メイト要請研修	地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」の養成のために実施する「認知症サポーター養成講座」の講師役となる「キャラバン・メイト」を養成することを目的	介護福祉士
		ふくし交流プラザ	新任職員ステップアップ研修	・福祉の現場でいきいきと働くために ・これまでの実践の振り返りとこれからの仕事について	介護職員
		春野あじさい会館	3月地域ケア会議		介護支援専門員
		ソーレ	ミニ地域支え合いフォーラムin旭2024		介護支援専門員

2. 特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム

重点目標

- (1) 目標稼働率 96% ⇒ 実績 94.1%

上半期の平均稼働率は93.1%、下半期は95.2%となり、いずれも目標稼働率を下回る結果となった。主な要因としては、入院者数の増加や長期入院者の割合の高さが挙げられる。さらに、急な退所が発生した際に、待機者の中からすぐに入所可能な方を確保することができず、入所までに時間を要したことも、稼働率の低下に影響した。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

稼働率を向上させるためには、退所から入所までをいかにスムーズに繋げるかが重要であり、その鍵となるのが入所優位者の確保であるが、入所申込数は減少傾向にあり、特に年末にはほとんど申し込みがなかった。加えて、申し込みがあっても要介護度3の方が多く、調査を実施しても優先度の高い入所希望者を確保することが難しい状況が続いている。そういった中でも、調査可能な方には速やかに連絡・訪問を行い、早期に入所判定会を実施することで、入所優位者の確保に努めた。今後も稼働率の向上を目指し、申込継続の意向確認を定期的に行いながら、申込者情報の整理と管理に努めていく。

- (3) 入院者減少に向けて

令和6年度の入院者数は68名で、前年度より10名減少した。一方で、平均入院日数は20.6日から23.2日へと延びており、長期化の傾向が見られる。入院者への対応としては、医療機関と適宜連携を図りながら、常に状況の把握に努めている。退院が可能な状態と判断された場合には、家族とも連絡を取り合い、早期退院に向けた支援を行った。今後も入院者数の減少を目指し、異常の早期発見や感染拡大の予防に継続して取り組む。

- (4) 誤薬事故ゼロを目指すための取り組みについて

令和6年度の誤薬事故は7件で、前年度から1件増加した。中には、マニュアルに従った手順が十分に実施されていなかったことが原因と考えられる事例も見受けられた。これを受けて、マニュアルの再確認とその遵守を徹底するよう、職員への周知と意識づけを強化していく。

誤薬は利用者の命に関わる重大な事故であり、常に緊張感を持った対応が求められる。今後は、日々の業務の中で配薬・服薬介助時の確認作業をより丁寧に行い、慌てず慎重な対応を徹底する。また、事故発生時の原因分析を通じて再発防止策を講じ、組織全体で安全管理体制の整備を図っていく。

- (5) レクリエーション活動の充実について

介護度の高い入居者が増え、午後に午睡を取る方も多くなったが、工夫を重ねることでレクリエーションは継続して実施できた。園芸活動では、水やりが日課となり、入居者とともに野菜の成長を楽しむことができた。

行事は行事委員会を中心に年間を通して企画・実施し、季節感のある取り組みを行った。特にクリスマス会は5年ぶりに全フロア合同で開催し、生演奏などを楽しんだ。

また、気候の良い季節には散策や買い物レクを行い、外気に触れる機会を提供した。

(6) 認知症への対応力向上に向けた取り組みについて

令和6年度は「認知症介護実践研修」と「実践リーダー研修」にそれぞれ3名の職員が参加し、専門的な知識と技術の習得を図った。また、認知症チームケア推進加算の算定要件である「認知症チームケア推進研修」への参加を通じて、施設内でチームケアカンファレンスを開催し、入居者ごとの個別ケア計画を作成した。

さらに、動画配信サービスを活用し、職員が自分のペースで学べる環境を整え、継続的なスキル向上を支援している。今後も各種研修への積極的な参加を促し、認知症ケアの質の向上とチームでの支援体制強化に努めていく。

(7) 自立支援、重度化防止の取り組みについて

入居者の自立支援と重度化防止を目的に、日々の体調変化に注意を払いながら、介護職・看護職・機能訓練指導員・管理栄養士が連携して情報を共有し、一人ひとりの状態に応じた適切な対応を行うことで、身体機能の維持・向上に取り組んだ。

具体的には、生活動作の維持を意識した日常的なケアや個別機能訓練の実施に加え、バランスの取れた食事提供と栄養面からの支援を通じて、可能な限り自立した生活の継続を支援した。

サービス内容

(1) 食事

管理栄養士と介護職、看護職が食事委員会などを通じて意見交換を行い、入居者の嗜好や嚥下状態に配慮した食事提供に取り組んだ。また、出前レクや回転寿司などの行事を通じて、食事を楽しむ機会も設けている。

誕生日会では、誕生月の入居者に赤飯やちらし寿司など見た目にも華やかな食事を提供し、委託業者の工夫によってお祝いの雰囲気を演出している。

なお、令和6年度には2名の入居者が入院中に胃瘻を造設されたが、退院後は身体状況や体調に応じて、安全に栄養補給を行った。

(2) 入浴

入浴時には入居者一人ひとりの皮膚状態を観察し、異常が見られた場合は速やかに看護職員へ報告して適切な対応を行っている。乾燥しやすい時期には、保湿ケアを重点的に行い、皮膚の乾燥防止に努めている。感染症が発生した際にも、週2回以上の入浴または清拭・更衣を実施し、入居者の清潔保持を徹底している。これにより、入居者の快適な生活環境を維持することを目指している。

(3) 排泄

全入居者の排泄支援計画を作成し、その計画に基づいた支援を実施している。新規入居者のオムツ使用者にはトイレ誘導を行い、紙カバーから紙パンツ、さらに布パンツへの移行を支援している。排泄サポートリフトの導入により、トイレの利用が困難だった入居者がトイレで排泄できるようになった例もある。重度化した入居者には定期的なパッド交換を行い、清潔保持に努めている。

(4) 機能訓練

入居者の身体機能の維持・向上を目的に、機能訓練指導員が個別の計画を作成し、その計画に基づいた機能訓練を実施している。訓練内容は入居者の状態に応じて適宜見直しを行い、無理のない範囲で継続して取り組めるよう配慮している。日常生活の中でも、排泄時や移乗時の立位保持など、残存機能をできる限り活かす支援を行い、自立支援と重度化防止に努めている。

(5) 健康管理

令和6年度の新型コロナウイルス感染者は17名（前年度11名）、インフルエンザ感染者は3名（前年度14名）であり、引き続き一定数の感染が発生している。面会制限の緩和により、今後の感染拡大も懸念されるため、感染予防と日常的な健康管理の重要性が一層高まっている。

今後も手洗いやマスク着用などの標準予防策を徹底し、全職員が感染予防への意識を持って対応するとともに、入居者・職員の体温測定や健康観察を継続し、体調変化の早期発見と迅速な対応に努めていく。

(6) 看取りケア

令和6年度の看取り者は6名であった。看取りに対する考え方は家族ごとに異なるため、入居者本人の思いと家族の意向を丁寧に確認し、最大限に尊重した支援を心がけている。人生の最期を安心して迎えられるよう、医師や看護職、介護職と連携を取りながら、身体的・精神的な苦痛の緩和に努め、寄り添ったケアを提供している。今後も、本人と家族にとって納得のいく看取りが行えるよう、支援体制の充実を図っていく。

令和6年度加算取得一覧表

スウィート・ハート・ホーム

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
日常生活継続 支援加算	36	958	27,486	94%	10,512,000	9,894,960	△ 617,040
個別機能訓練加算 Ⅰ	12	958	27,486	94%	3,504,000	3,298,320	△ 205,680
個別機能訓練加算 Ⅱ	20 / 月	958	27,486	100%	192,000	191,600	△ 400
夜勤職員配置加算	16	958	27,486	94%	4,672,000	4,397,760	△ 274,240
看護体制加算 Ⅰ	4	958	27,486	94%	1,168,000	1,099,440	△ 68,560
看護体制加算 Ⅱ	8	958	27,486	94%	2,336,000	2,198,880	△ 137,120
生活機能向上 連携加算	100 / 月	958		100%	960,000	958,000	△ 2,000
科学的介護 加算Ⅱ	50 / 月	958		100%	480,000	479,000	△ 1,000
生産性向上加算Ⅱ	10 / 月	958		100%	96,000	95,800	△ 200
協力医療機関 連携加算Ⅰ	100 / 月	721		75%	960,000	721,000	△ 239,000
感染対策向上加算Ⅰ	10 / 月	562		59%	96,000	56,200	△ 39,800
感染対策向上加算Ⅱ	5 / 月	562		59%	48,000	28,100	△ 19,900
口腔衛生管理 加算	110 / 月	0		0%	1,056,000	0	△ 1,056,000
退所時情報提供加算	250 / 回	57			142,500	142,500	
退所時栄養連携加算	70 / 回	28			19,600	19,600	
再入所時栄養 連携加算	200 / 回	2			4,000	4,000	
看取り体制加算 (死亡日)	1,280	6			76,800	76,800	
看取り体制加算 (2～3日)	680	11			74,800	74,800	
看取り体制加算 (4～30日)	144	80			115,200	115,200	
看取り体制加算 (31～45日)	72	30			21,600	21,600	
療養食加算	6 / 食	139	11,705		702,300	702,300	
初期加算	30	130	1,256	※2	376,800	376,800	
入院・外泊時費用	246	67	374		920,040	920,040	
安全対策体制加算	20 / 回	30			6,000	6,000	
褥瘡マネジメント加算Ⅰ	3 / 月	28			840	840	
褥瘡マネジメント加算Ⅱ	13 / 月	930			120,900	120,900	
排泄支援加算Ⅰ	10 / 月	807			80,700	80,700	
排泄支援加算Ⅱ	15 / 月	120			18,000	18,000	
排泄支援加算Ⅲ	20 / 月	31			6,200	6,200	
					28,766,280	26,105,340	△ 2,660,940

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【日常生活動作】

在籍者数 79名

(令和7年3月31日)

項 目	介護状況	入居者実数	構成比	備考
歩行	自立歩行	2	2.5%	
	歩行補助器(手引き)	4	5.1%	
	車椅子	73	92.4%	
食事	自力摂取	35	44.3%	
	一部介助	18	22.8%	
	全介助	26	32.9%	
入浴	自立	0	0.0%	
	一部介助	20	25.3%	
	全介助	59	74.7%	
排泄	自立	2	2.5%	
	一部介助	29	36.7%	
	全介助	48	60.8%	
更衣	自立	5	6.3%	
	一部介助	15	19.0%	
	全介助	59	74.7%	
整容	自立	4	5.1%	
	一部介助	14	17.7%	
	全介助	61	77.2%	
意思疎通	自立	22	27.8%	
	一部介助	24	30.4%	
	全介助	33	41.8%	

【行事实績】

(S-ショートステイ利用者数)

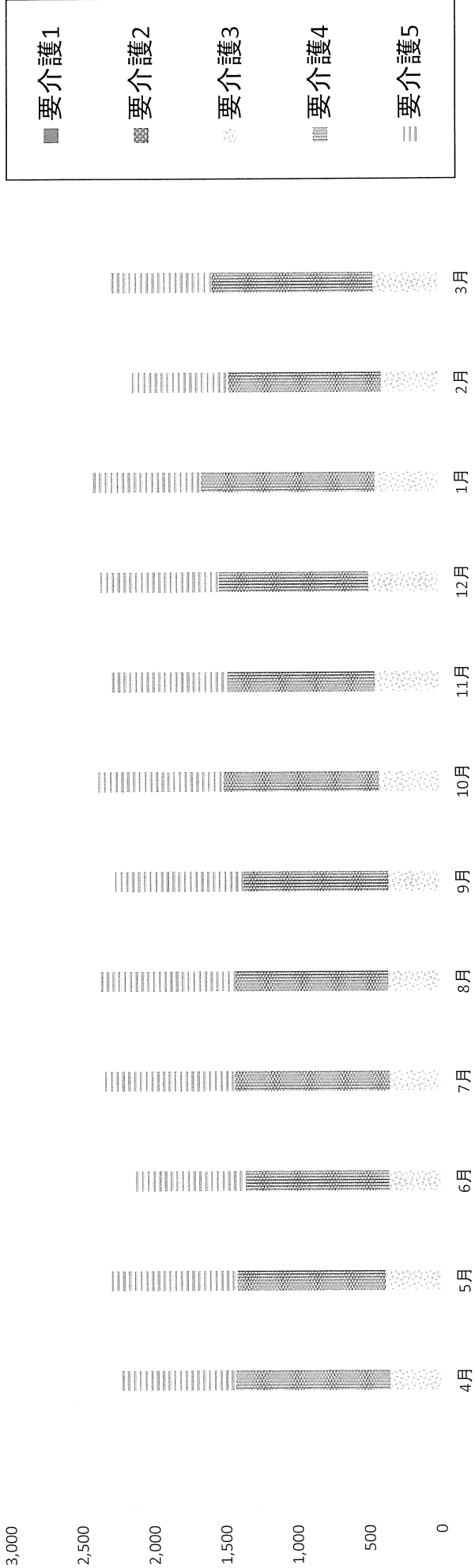
実施年月		行事名	参加入居者数	内 容
令和6年	4月	生け花	18 名 (S- 5 名)	4月10日
		おやつレク	83 名 (S- 15 名)	4月24日
	5月	生け花	11 名 (S- 5 名)	5月8日
		出前レク	66 名 (S- 4 名)	5月15日、22日
	6月	生け花	17 名 (S- 4 名)	6月12日
		散策月間	19 名 (S- 2 名)	6月1日～30日
	7月	生け花	19 名 (S- 8 名)	7月10日
		夏祭り(各フロアにて)	86 名 (S- 14 名)	7月17日、24日
	8月	暑中見舞いハガキ作成	83 名 (S- 4 名)	8月1日～8日
		生け花	24 名 (S- 4 名)	8月21日
	9月	生け花	20 名 (S- 5 名)	9月4日
		敬老会	82 名 (S- 12 名)	9月11日
	10月	たこ焼き実演	83 名 (S- 11 名)	10月2日、9日、16日、23日
		生け花	25 名 (S- 6 名)	10月9日
	11月	スワン移動販売	22 名 (S- 3 名)	11月6日
		生け花	21 名 (S- 4 名)	11月6日
		回転寿司	20 名 (S- 4 名)	11月14日
	12月	クリスマス会	78 名 (S- 13 名)	12月22日
		生け花	14 名 (S- 5 名)	12月30日
令和7年	1月	お正月ウィーク	90 名 (S- 20 名)	1月1日～4日 延べ人数
		生け花	16 名 (S- 4 名)	1月15日
	2月	節分(豆まき)	85 名 (S- 13 名)	2月5日
		生け花	30 名 (S- 6 名)	2月12日
		ケーキバイキング	81 名 (S- 12 名)	2月19日
	3月	生け花	23 名 (S- 3 名)	3月12日
		散策	10 名 (S- 2 名)	3月12日、19日、26日

※毎月(7月、12月、2月除く)、スウィートカフェを実施、胃ろう者以外は参加する。

【入居者構成表】

	要介護度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
		実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
入所者合計	要介護1																									0	0
	要介護2																									0	0
	要介護3	13	361	14	390	14	361	14	355	12	361	13	357	16	420	16	450	16	494	16	447	15	401	15	457	174	4,854
	要介護4	38	1,075	36	1,030	36	994	36	1,077	38	1,063	39	1,011	36	1,085	35	1,020	38	1,038	40	1,209	40	1,063	41	1,123	453	12,788
	要介護5	31	794	31	881	31	773	32	908	31	942	31	899	30	875	29	812	31	829	27	753	26	676	25	702	355	9,844
合 計		82	2,230	81	2,301	81	2,128	82	2,340	81	2,366	83	2,267	82	2,380	80	2,282	85	2,361	83	2,409	81	2,140	81	2,282	982	27,486

令和6年度 入居者構成表



【各種構成指標】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計／平均
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
平均要介護度	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.17
1日平均入居者数	74.3	74.2	70.9	75.5	76.3	75.6	76.8	76.1	76.2	77.7	76.4	73.6	75.3
満床率	92.9%	92.8%	88.6%	94.4%	95.4%	94.5%	96.0%	95.1%	95.3%	97.1%	95.5%	92.0%	94.1%

【保険者別入居者数】

(令和7年3月31日)

	高知市	いの町	土佐市	四万十町	香美市	須崎市	合計
利用者数	71	1	4	1	1	1	79

【男女構成】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
男性	16	15	15	15	14	14	14	13	13	14	13	13	169
女性	66	66	66	67	67	69	68	67	72	69	68	68	813

【年齢構成】

(令和7年3月31日)

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計	平均	最低年齢	最高年齢
男性	1		1		5	1	2	2		12	84歳	63歳	97歳
女性		1	2	5	6	17	25	8	3	67	89歳	68歳	104歳
合計	1	1	3	5	11	18	27	10	3	79	88歳		

【利用者負担段階】

(毎月実人数算定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
第1段階	5	5	5	5	5	5	4	4	3	4	4	4	53
第2段階	15	16	14	13	13	13	13	12	13	11	11	11	155
第3段階①	14	14	14	14	15	16	16	15	16	17	16	17	184
第3段階②	16	16	17	17	15	15	16	16	17	16	15	16	192
第4段階	32	30	31	33	33	34	33	33	36	35	35	33	398
合計	82	81	81	82	81	83	82	80	85	83	81	81	982

【入居者】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護1	男													0
	女													0
要介護2	男													0
	女													0
要介護3	男		1					1			1			3
	女		1	1			1	1						4
要介護4	男												1	1
	女		1	1	1	1	2	2		3	2	1		14
要介護5	男	1												1
	女	1	1	1	1					2			1	7
合 計		2	4	3	2	1	3	4	0	5	3	1	2	30

【退居者】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護1	男													0
	女													0
要介護2	男													0
	女													0
要介護3	男				1						1		1	3
	女	1										1		2
要介護4	男	1					1					1	1	4
	女	1	2	1		1	2	1		4				12
要介護5	男	1						1						2
	女	1	1		1		2			1	2		1	9
合 計		5	3	1	2	1	5	2	0	5	3	2	3	32

3. 短期入所生活介護 / 介護予防短期入所生活介護

重点目標

- (1) 目標稼働率 85% ⇒ 実績 85.6%

上半期は7月を除き目標稼働率を達成できたが、下半期は12月と1月に目標を下回り、平均稼働率が低下した。主な要因は、ロングショート利用者の特別養護老人ホーム入所により空床が発生し、その補填が難しかったことにある。ただし、上半期に稼働率が安定していたことにより、年間目標稼働率を達成することができた。令和7年度も新規利用者の獲得とリピート率の向上に取り組む、稼働率の向上につなげていく。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

担当者会議や送迎時にケアマネジャーや家族から情報を収集し、利用者のニーズに応じた支援を職員間で共有・実施できた。「困難事例でも一度は受け入れる」方針で対応したが、利用継続が難しいケースもあり、受け入れの判断基準や対応体制に課題が残った。

一方で、相談員や看護職、理学療法士など各職種が外部との連携に積極的に関わったことで、関係機関や家族との信頼関係が深まり、リピーターの確保にもつながった。

- (3) レクリエーション活動の充実について

ショートステイ専用フロア化以降、自立度の高い利用者同士の交流が活発になり、会話や笑顔での接触が増えた。利用者が「隣の人と話して楽しかった」と家族に話すこともあり、交流を楽しんでいる様子が見受けられる。現在、制作活動や塗り絵、ゲームなどのレクリエーションを通じて、利用者同士のコミュニケーションが促進されており、自然な形での関わりが増えている。専用フロア化の成果が着実に表れ、利用者の満足度向上にもつながっている。

- (4) 個別機能訓練の実施について

新規担当者会議では、理学療法士が個別機能訓練を実施していることを伝え、ショートステイ利用中の機能維持・向上に努めていることを説明した。個別機能訓練の実施にあたっては、利用者および家族の意向を確認し、認知症状が強くADLが自立している方や、金銭的に困難な事情がある方を除き、ほとんどの利用者に対して実施することができた。

サービス内容

利用者や家族のニーズをモニタリングで的確に把握し、サービス内容に反映させることで満足度の向上につなげた。また、居宅介護支援事業所など関係機関との情報共有により、個別性を踏まえた適切な支援を実施した。多職種連携では、看護職員との連携による体調管理を行い、必要に応じて機能訓練指導員が個別機能訓練を提供した。送迎については、家庭環境や利用者の心身状態に応じた柔軟な対応を行った。

令和6年度加算取得一覧表

スウィート・ハート・ホーム ショートステイ

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
機能訓練 体制加算	12	572	4,992	85%	700,800	599,040	△ 101,760
夜勤職員 配置加算Ⅲ	15	572	4,992	85%	876,000	748,800	△ 127,200
サービス提供 体制加算Ⅰ	22	572	4,992	85%	1,284,800	1,098,240	△ 186,560
個別機能訓練 加算	56	549	2,784	73%	※3 2,150,400	1,559,040	△ 591,360
生産性向上 加算Ⅱ	10	572		100%	57,200	57,200	0
療養食加算	8	8	579	※2	46,320	46,320	
緊急受入加算	90	6	26		23,400	23,400	
送迎加算	184	479	1,371		2,522,640	2,522,640	
長期利用者 提供減算	△ 30	5	1,246		△ 373,800	△ 373,800	
					7,287,760	6,280,880	△ 1,006,880

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

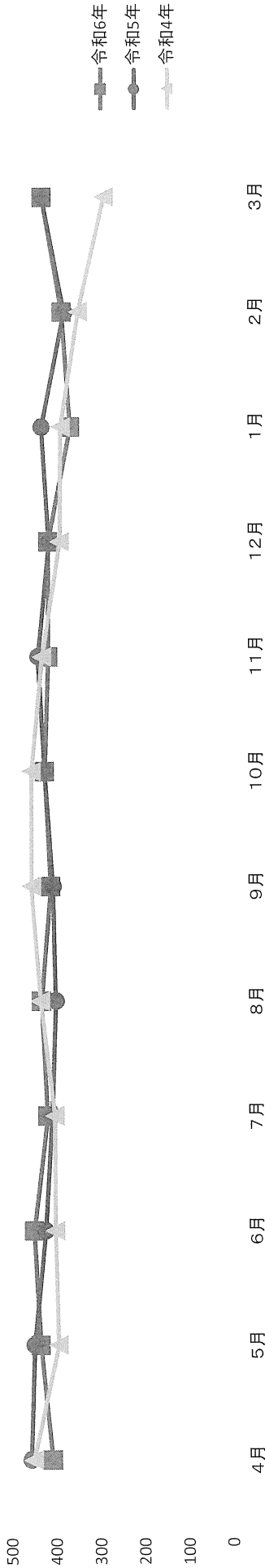
※3 個別機能訓練加算は、機能訓練指導員が勤務した日に加算算定するものである。
取得率は勤務日数での割合となっている。

【 ショートステイ利用者構成表 】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
介 要支援1																									0	0
要支援2																									0	0
要介護1	2	41	5	59	6	84	7	70	6	54	6	53	6	62	10	82	6	65	7	57	8	58	7	65	76	750
要介護2	17	112	11	79	10	67	9	78	11	80	10	81	9	84	10	79	11	94	11	87	12	80	12	77	133	998
要介護3	12	115	13	119	14	118	14	95	13	111	13	96	12	74	9	67	13	97	12	100	15	128	18	181	158	1,301
要介護4	12	119	13	151	12	154	11	152	13	160	12	155	12	147	15	153	15	124	12	90	11	89	11	95	149	1,589
要介護5	4	22	4	28	4	27	4	24	4	27	5	26	9	57	6	35	5	36	6	32	3	28	2	12	56	354
合 計	47	409	46	436	46	450	45	419	47	432	46	411	48	424	50	416	50	416	48	366	49	383	50	430	572	4,992
平均要介護度	2.9		3.0		2.9		3.4		3.1		3.0		3.2		3.0		2.9		2.9		2.9		2.8		3.0	

事業日数	30	31	30	31	31	31	31	30	31	31	31	30	31	31	31	28	31	365				
1日平均利用者数	13.6	14.1	15.0	13.5	13.9	13.9	13.7	13.7	13.7	13.4	11.8	13.9	13.7	86.7%	83.9%	73.8%	85.5%	86.7%	13.7	85.5%		
満床率	85.2%	87.9%	93.8%	84.5%	87.1%	85.6%	85.5%	85.5%	85.5%	86.7%	83.9%	73.8%	85.5%	86.7%	83.9%	73.8%	85.5%	86.7%	85.5%	86.7%	13.7	85.5%

ショートステイ 利用者 延人数推移



4. デイサービスセンター サムフォット(通所介護 / 第1号通所事業)

重点目標

- (1) 目標稼働率 67% ⇒ 実績 67.8%

新規利用者の獲得に向けて、毎月のモニタリングや電話連絡を通じて、利用者の変化をケアマネジャーや家族と情報共有した。サービス付き高齢者住宅に入居している利用者の送迎時には、施設管理者と情報を共有して連携を図り、他の施設入居者の紹介を受けることができた。利用中の転倒事故で長期入院した利用者があり、その影響で稼働率が一時的に低下したため、支援方法の見直しを行った。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

利用者の紹介につなげるため、日々のケアを丁寧に行い、家族や居宅介護支援事業所と密に連絡を取りながら営業活動を行った。高齢者の多い地域への営業は限定的だったが、関係のある居宅への訪問を強化し、利用者の獲得に努めた。見学の依頼があった際は感染対策を徹底し、受け入れを行った。また、重度利用者だけでなく、要支援の利用者も積極的に受け入れ、幅広い支援実績を積み重ねた。

- (3) 利用者満足度の向上について

常に笑顔で支援を行い、利用者の介護度に応じたコミュニケーションを心がけた。レクリエーションは重度・軽度どちらの利用者も参加できる内容を月1回の生産性向上委員会で検討し、楽しんでいただけた。また、家族の要望に応じた柔軟なサービスを提供し、送迎時には利用中の様子を丁寧に伝えることで、「自宅では見られない姿が知れた」と喜ばれる場面もあった。家族に急な用事が生じた場合には、夕食サービスの提供や帰宅時間の調整など、状況に応じて臨機応変に対応した。

- (4) 夕食サービスの送迎と自宅での支援について

自宅内支援が必要な利用者には、家族の不在時だけでなく、家族の介護力や生活状況に応じた柔軟な支援を行った。家族の帰宅時間に合わせた送迎は引き続き実施し、安心して在宅生活を送れるよう配慮した。また、急な夕食サービスの利用希望があった場合も、居宅介護支援事業所と連携を取り、スムーズに対応することで、家族の負担軽減につなげることができた。

サービス内容

(1) 食事

利用者の嚥下状態に応じた食事提供を行い、食事制限のある方には管理栄養士と連携してできる限り個別対応を行った。嚥下機能に問題はないが胃ろう造設中の利用者には、家族からの経口摂取の希望に可能な範囲で応じた。

行事食では季節感を取り入れ、日常に変化をもたらす工夫をした。出前レクは外食が難しい利用者に好評で、おやつ作りレクでは自分で作る楽しみとともに、食事を楽しんでもらえた。

(2) 入浴

利用者の状態に応じて特殊浴槽と一般浴槽を使い分け、安全に入浴支援を行った。冬至にはゆず風呂を取り入れ、季節感も楽しんでもらえた。医療処置が必要な利用者が多いため、看護職員による入浴支援を継続し、浴室での待機なく処置を実施できた。入浴を拒否する利用者には、支援職員を交代するなど工夫しながら対応し、入浴につなげることができた。

(3) 排泄

排泄チェック表に記入することで、利用者の排尿・排便状況を把握し、状況に応じた排泄支援を行うことができた。また、主治医の指示に基づき、必要時には看護職員が摘便処置や浣腸などの支援を行った。排尿・排便状況は連絡帳に記載し、家族との情報共有を行った。

(4) 機能訓練

ランニングマシンは利用者の運動機能により使用できる方が少なかったが、リカバリーバイクは楽しみながら利用できていた。滑車は故障のため使用できなかったが、次年度には修理し再使用できるようにする。入浴後には利用者にタオルをたたんでもらい、活動的に過ごしていただいた。食事前には看護職員が口腔体操を実施した。

(5) 健康状態

送迎時には利用されていない日の状態を家族に聞き取り、職員間で情報を共有した。必要に応じて、利用中の観察や居宅ケアマネへの報告も行った。連絡帳にはバイタルチェックやデイでの服薬・点眼について記載し、医師の指示に基づいた対応を実施した。

(6) 感染対策

独居で検温ができない利用者には、送迎時に検温を行い適切な支援を実施した。また、ホール内の定期的な換気や、利用後の椅子、手すり、ベッドなどの消毒を行った。新型コロナウイルスやインフルエンザ感染に関しては、同居家族の状況に注意し、感染者が発生場合には感染対策を講じた。利用者に感染者が数名発生したが、迅速に対応し、感染拡大を防ぐことができた。

(7) 送迎サービス

家族の勤務状況等に応じた送迎計画を立て、長時間の乗車による身体的負担を軽減した。独居や家族が留守の利用者宅では施錠確認、火の元確認、服薬確認を行った。状態が変化しやすい利用者には、車椅子対応など柔軟な送迎を実施した。

令和6年度加算取得一覧表

サムフォット

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
中重度者ケア 体制加算	45	548	6,161	67%	4,158,000	2,772,450	△ 1,385,550
サービス提供 体制加算Ⅱ	18	548	6,161	67%	1,663,200	1,108,980	△ 554,220
入浴加算	40	525	4,928	80%	2,464,400	1,971,200	△ 493,200
科学的介護 加算	40	548	548	} ※2	219,200	219,200	
認知症加算	60	184	2,018		1,210,800	1,210,800	
送迎減算	△ 47	59	104		△ 48,880	△ 48,880	
					9,666,720	7,233,750	△ 2,432,970

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

（日曜日、年末年始は閉所のため、開所日の308日で計算している。30名定員）

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【年齢構成】（総合事業含）

（令和7年3月31日）

	64歳 以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	計	平均 年齢	最低 年齢	最高 年齢
男		1		3	2	8	4	1	19	85歳	65歳	97歳
女		1	1	2	4	7	6	7	28	88歳	68歳	101歳
計	0	2	1	5	6	15	10	8	47	87歳		

【行事実績】

実施年月		行事名	内 容
令和6年	4月	お花見レク	壁や窓に花を作る
		輪投げ、釣りレク	机や床に点数を書いた魚を並べ竿で釣る
		喫茶・誕生会	
		ミュージックレク、音楽レク	楽器を使い身体を動かす、歌集使用し歌う
	5月	こいのぼり運動会	
		回想レク	アーカイブ映像を視聴し問題を出す
		喫茶・誕生会、読み聞かせ	
		ミュージックレク、音楽レク	楽器や歌集を使用し体を動かす
		こいのぼりレク	
	6月	ボウリング・歌集レク	
		ステーキゲーム・カルタ	コンロの上でお肉をひっくり返すことを競う
		喫茶・誕生会、出前レク	外食の雰囲気を楽しむ
		輪抜けレク	輪抜けの雰囲気を楽しむ
	7月	短冊作り、短冊飾り	短冊記入、笹に飾り付け
		ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
		喫茶・誕生会	
		潮干狩りレク	細かく切った新聞紙の中にアサリを隠しバケツの中へ入れる
		ビデオ鑑賞	
	8月	ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
		喫茶・誕生会	
		夏祭り	季節行事を楽しむ

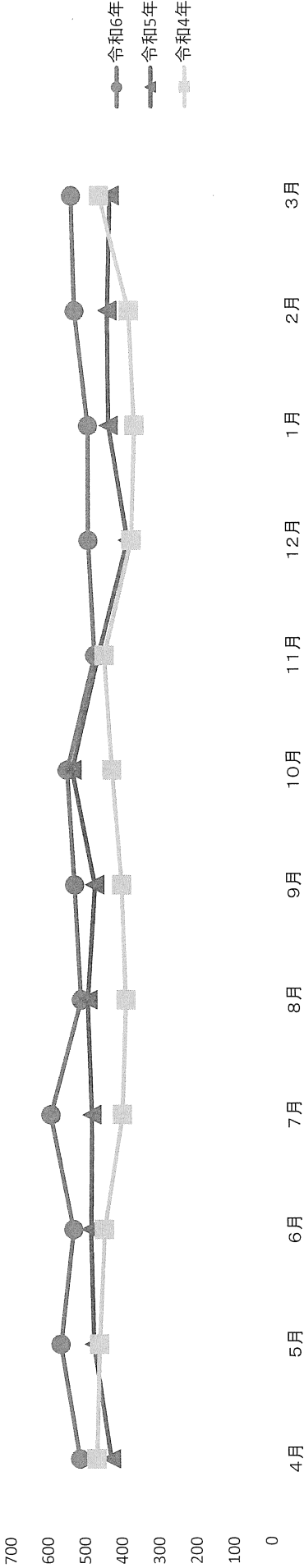
令和6年	9月	ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
		風船バレー・読み聞かせ	
		リラクゼーションレク	照明を消し落ち着く音楽を聴く
		喫茶・誕生会・敬老会	季節行事を楽しむ
		ビデオレク	季節行事のビデオ鑑賞
	10月	回想レク	昔を懐かしむ
		ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
		運動会	季節行事を楽しみながら体を動かす
		喫茶・誕生会	
		ハロウィンレク	季節行事を楽しむ
	11月	ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
		回想レク	アーカイブ映像を視聴し問題を出す
		喫茶・誕生会	
		リラクゼーションレク	照明を消し落ち着く音楽を聴く
		魚釣りゲーム	床に並べた魚を竿で釣り上げる
	12月	すき焼き、カレー、寿司レク	家族を作り、カードを引いて目的の料理の具材を集める
		ミュージックレク、回想レク	アーカイブ映像を視聴し問題を出す
		喫茶・誕生会	
		クリスマス会・正月準備	季節行事を楽しむ
令和7年	1月	正月遊び	駒回し・福笑い
		初釜・書初め・硬筆	正月の雰囲気を感じる
		喫茶・誕生会	
		ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす
	2月	おやつレク・節分レク	節分ロールを作り季節を感じる
		回想レク	アーカイブ映像を視聴し問題を出す
		喫茶・誕生会	
		ひな祭りレク準備	季節行事を楽しむ
	3月	焼肉・おせんべい焼きレク	焼肉・おせんべいを作成し裏返す
		ひな祭りレク	季節行事を楽しむ
		喫茶・誕生会	
		ミュージックレク	楽器や歌集を使用し体を動かす

【デイサービスセンターサムフォット利用者構成表】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均			
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数		
介護保険	要支援		1	9	1	9	1	8	1	8	1	8							2	5	2	12	3	15	2	13	15	96
	要介護1		9	114	12	136	11	125	9	129	10	130	10	131	10	131	9	123	9	122	9	120	8	103	8	112	114	1,476
	要介護2		4	54	5	67	6	73	8	87	5	47	7	52	8	76	8	75	9	81	8	78	10	99	7	63	85	852
	要介護3		10	127	9	105	8	86	8	91	9	107	9	102	8	91	7	73	9	76	5	62	6	77	9	97	97	1,094
	要介護4		9	102	12	140	12	120	12	140	11	111	11	120	9	125	10	101	9	96	9	108	8	86	8	80	120	1,329
	要介護5		9	108	11	108	13	118	13	134	12	104	10	111	10	120	9	96	9	105	11	106	13	142	12	166	132	1,418
合 計		42	514	50	565	51	530	51	590	48	507	48	524	45	543	43	468	47	485	44	486	48	522	46	531	563	6,265	
平均要介護度		3.1		3.0		3.1		3.1		3.0		3.1		3.0		2.9		3.0		3.0		3.1		3.2		3.1		
その他(総合事業含)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

事業日数	26	27	25	27	26	25	27	26	25	27	26	25	24	24	26	24	26	308
1日平均利用者数	19.8	20.9	21.2	21.9	19.5	21.0	20.1	18.0	19.4	20.3	20.3	19.4	21.8	20.3	20.4	21.8	20.3	20.3
稼働率	65.9%	69.8%	70.7%	72.8%	65.0%	69.9%	67.0%	60.0%	64.7%	67.5%	67.5%	64.7%	72.5%	68.1%	68.1%	72.5%	67.8%	67.8%

サムフォット 利用者 延べ人数推移



5. 居宅介護支援事業所 ポム

重点目標

- (1) 目標稼働率 91% ⇒ 実績 81.6%

居宅ポムはこれまで職員3名体制で運営していたが、1名を増員し、令和6年10月から4名体制へと移行した。新たに採用した職員は、担当件数ゼロからのスタートとなり、事業所内での引継ぎや新規依頼を受け持ちながら、徐々に担当件数を増やしていった。10月までは稼働率の目標を達成していたが、4名体制となってもすぐに総件数が増えるわけではなく、年間を通じた稼働率は目標を下回る結果となった。

一方で、4名体制となったことで上位の特定事業所加算が算定可能となり、11月以降はその加算分によって収益が増加した。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

利用者や家族の置かれている環境や、サービス利用の目的を的確に把握し、求められるサービス内容と提供可能な支援との調整を行いながら、安心して満足のいく在宅サービスの利用につなげる支援を行った。

新規依頼の多くが地域包括支援センターから寄せられていることから、関係機関との連携やネットワークの強化にも注力した。また、増員を契機に、従来の関係先にとどまらず、地域カンファレンスへの参加や個別訪問など、働きかけの範囲を広げた。

- (3) 介護支援専門員の質の向上と公正中立性の確保について

地域の事業所やサービスに関する情報を収集しつつ、事業所内では週1回のミーティングを実施し、意見交換、事例検討、研修報告などを行った。また、朝倉・鴨田地区を含む市内の複数の地域包括支援センターが主催する地域ケア会議にも、毎月複数回参加した。事例検討会は、事業所内だけでなく、高知市居宅介護支援事業所協議会の検討会にも参加し、主任介護支援専門員を中心に、他法人と連携しながらスーパービジョンについて学ぶ機会を確保した。さらに、法人内外の研修にも積極的に参加し、専門知識やケアマネジメント力の向上に努めた。

- (4) 関係機関等との連携強化について

地域包括支援センターとは、新規依頼やそのフィードバック、事例相談、虐待の報告などを通じて継続的に連携を図った。今後も連携体制を強化し、信頼関係を深めていきたい。

医療機関とは、主に入退院時の情報共有を中心に連携を行った。入院時の情報提供については、加算の有無にかかわらず全件で実施した。また、病院でのカンファレンスや家庭訪問にも参加し、連携を強化した。

さらに、高知市在宅医療介護支援センター（市医師会）の主催する医療職との交流会や研修にも積極的に参加した。

(5) 特定事業所加算について

特定事業所加算の算定要件に基づき、毎月の運営基準を厳守し、質の高いサービスを提供できるよう努めた。毎週事業所内会議を開催し、事業所内・法人内・外部の研修や、他法人との事例検討会、地域ケア会議にも積極的に参加することで、要件を確実に満たしてきた。

また、職員増員に伴い、令和6年11月からは特定事業所加算Ⅱの算定を開始し、サービスの質をさらに向上させるための基盤を強化した。

サービス内容

(1) 居宅介護サービス計画の作成

利用者の状況の変化に応じて居宅サービス計画を作成し、利用者や家族に丁寧に説明を行った。また、利用者や家族の声に耳を傾け、ニーズを把握することを心掛けた。今後もニーズの発掘や目標設定につながるよう、アセスメント能力をさらに向上させ、サービスの質や技術の向上にも取り組んでいく

(2) 関係機関との連絡調整

サービス事業所と連携し、介護サービス計画書や利用状況の確認、情報交換を行った。また、居宅サービス計画書と利用者・家族のニーズ、サービス内容にズレがないかを定期的に確認し、利用者に適切なサービスが提供されているかを調査した。さらに、介護保険サービス以外のサービスや制度を提案し、必要に応じてプランに反映させた。

(3) ニーズ調査の為の訪問の実施

利用者の状態や生活状況、目標に沿って適切にサービスが提供されているかを確認するため、毎月1回、利用者の居宅を訪問してモニタリングを実施した。利用者の状態や生活状況に変化があった場合は、居宅サービス計画書を適宜変更した。

令和6年度加算取得一覧表

居宅 ポム

加算項目	単位	実人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
特定事業所 加算Ⅱ	421	424	66%	2,694,400	1,785,040	△ 909,360
特定事業所 加算Ⅲ	323	602	90%	2,170,560	1,944,460	△ 226,100
初期加算	300	25	}		75,000	
通院時情報連 携加算	50	8			4,000	
退院・ 退所加算Ⅰ	450	9			40,500	
退院・ 退所加算Ⅱ	600	2		※2	12,000	
入院時情報 連携加算Ⅰ	250	23			57,500	
入院時情報 連携加算Ⅱ	200	19			38,000	
				4,864,960	3,956,500	△ 1,135,460

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

ケアマネ4名配置（稼働率100%の場合）
一人当たりの利用者数 39名（内訳 介護32名、予防14名）

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

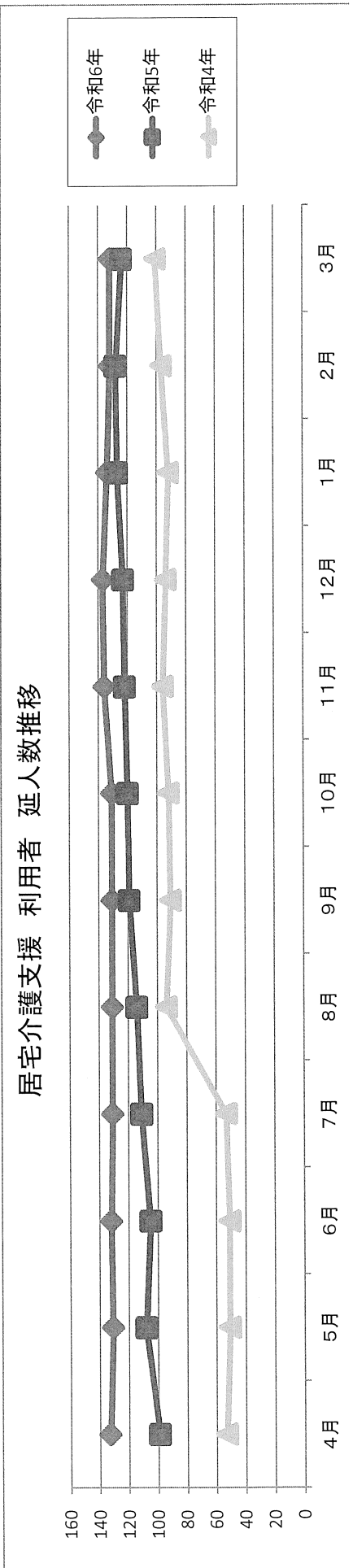
【居宅介護支援事業利用者構成表】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計／平均
	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数	実数
介護要支援1	15	15	16	17	16	16	17	15	16	15	14	17	189
介護要支援2	30	28	27	30	31	31	29	34	34	34	35	33	376
予防合計	45	43	43	47	47	47	46	49	50	49	49	50	565
平均要支援度	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7

介護保険	要介護1	43	44	42	41	40	39	40	43	42	37	36	486
	要介護2	24	21	24	21	22	21	19	20	21	24	23	264
	要介護3	12	11	11	11	12	13	14	10	10	12	13	139
	要介護4	7	9	8	7	6	7	8	10	9	6	5	89
	要介護5	2	3	4	4	4	4	4	4	5	4	5	48
合計		88	88	89	84	84	84	85	87	87	83	82	1,026
平均要介護度		1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

利用者計	133	131	132	131	131	131	131	136	137	134	132	132	1,591
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

利用率(上限39名/1人当)	94.9%	94.0%	94.9%	93.2%	92.3%	92.3%	69.2%	67.9%	71.8%	70.5%	69.2%	68.6%	81.6%
----------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



6. 小規模多機能型居宅介護事業所 サイタ

(小規模多機能型居宅介護 / 介護予防小規模多機能型居宅介護)

重点目標

- (1) 目標稼働率 90% ⇒ 実績 89.8%

令和6年度の平均稼働率は89.8%となり、目標の90%にはわずかに届かなかった。主な要因は、申込者数の減少や新規登録者の受け入れに時間を要したことなどが挙げられる。今後は、地域包括支援センター等との連携を強化し利用者紹介の促進を図るとともに、柔軟な受け入れ体制の構築や職員体制の見直しなど、改善策を講じて稼働率の向上を図っていく。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

新規利用者確保のため、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、介護老人保健施設との連携を強化し、介護を必要とする人の早期把握と受け入れ体制の整備を進めた。これにより、関係機関との連携が深まり、地域での信頼性向上と利用者受け入れに繋がった。今後も連携強化とネットワーク構築に努めていく。

令和6年度は、法人内のデイサービスやショートステイへの紹介事例はなかった。これは、小規模多機能のサービス内容が利用者ニーズに概ね合致していたためである。今後は利用者の状況に応じた他サービスの選択肢提示や、法人内連携体制の充実を図っていく。

- (3) 地域との連携に向けた取り組みについて

地域や関係機関との連携強化を図るため、地域交流ルームでの百歳体操や男の料理教室を定期的に開催し、地域住民との絆を深めた。また、医療や福祉用具の関係機関と連携し、地域包括ケアの拠点としての役割を果たすために尽力した。利用者には日常生活支援や機能訓練を提供しつつ、地域ボランティアの受け入れを行い、生活に変化と楽しみを提供した。

- (4) 重度化対策及び在宅での看取り支援に関する取り組みについて

利用者の重度化が進行したため、通院介助や一時宿泊利用の体制を整え、居宅療養管理指導や訪問看護の導入も検討した。重度化予防として生活リハビリや下肢筋力向上トレーニングを実施するなど、看護職員が機能訓練に取り組んだ。看取り希望はなかったが、今後希望があった時のことを考えると、職員の死生観教育や体制整備は課題である。

- (5) 認知症ケアへの取り組みについて

認知症対応力の強化を目的に、4名の職員が認知症実践者研修を受講し、より質の高い認知症ケアを実践できるようになった。研修を通じて得た知識と技術を日々のケアに活かし、認知症の進行状況や個々のニーズに応じた柔軟な対応を心掛けた。また、生産性向上委員会では認知症ケアにおける課題や改善点について職員間で意見交換を行い、実際のケアに反映させるための対応策を検討した。今後も職員の知識と技術の向上を継続的に図り、認知症ケアの質を高めていく。

(6) 年間行事の取り組みについて

利用者に季節感を感じていただくため、年間を通じて花見、夏祭り、敬老会、クリスマス会などの季節行事を実施し、多くの笑顔が見られた。しかし、個々の趣味や関心に基づいた余暇活動は十分に提供できなかったため、ニーズの再確認を行い、利用者が意欲的に参加できる環境づくりを実施していく必要がある。今後は、利用者の生活に彩りを加える行事や活動を継続的に実施し、心身の活性化と社会的交流の促進に努めていく。

サービス内容

(1) 通いサービス

通いサービスでは、日中に食事・入浴・排泄などの生活介護を提供し、利用者の生活リズムの安定と心身機能の維持を図った。また、利用者同士の交流を促す活動や季節行事を実施し、社会的孤立の予防にも努めた。送迎時には家族と情報を共有し、不安や変化を早期に把握して支援につなげた。これらの取り組みにより、住み慣れた地域での生活継続を支援した。

(2) 泊まりサービス

通いサービスの延長として、日頃から通い慣れた環境と馴染みの職員による泊まりサービスを提供し、利用者の混乱を最小限に抑えるよう努めた。また、泊まり後の在宅生活に支障が出ないよう、環境調整や声かけを通じて不安の軽減を図った。必要に応じて泊まりサービスを活用することで、利用者の在宅生活の継続を支援した。

(3) 訪問サービス

馴染みの職員が利用者宅を定期的に訪問し、在宅生活の継続に必要な支援を実施した。訪問を通じて生活環境や日々の習慣に直接触れることで、「その人らしさ」や個別のニーズへの理解を深めることができた。また、顔なじみの職員との関わりにより利用者の安心感や信頼感が高まり、体調や生活状況の変化にも早期に気づくことができた。こうした関係性を基盤に、きめ細やかで柔軟な支援を提供し、住み慣れた地域での生活の継続を支えた。

令和6年度加算取得一覧表

小規模多機能型居宅介護 サイタ

加算項目	単位	実人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
看護職員配置 加算Ⅰ	900 /月	259	86%	2,700,000	2,331,000	△ 369,000
総合マネジメ ント加算	1,200 /月	259	86%	3,600,000	3,108,000	△ 492,000
訪問体制強化 加算	1,000 /月	259	86%	3,000,000	2,590,000	△ 410,000
サービス 提供体制Ⅰ	750 /月	259	86%	2,250,000	1,942,500	△ 307,500
科学的介護 加算	40 /月	259	86%	120,000	103,600	△ 16,400
生産性向上 加算Ⅱ	10 /月	259	86%	30,000	25,900	△ 4,100
認知症加算Ⅲ	760 /月	107	} ※2		813,200	
認知症加算Ⅳ	460 /月	34			156,400	
初期加算	30 /日	556			166,800	
				11,700,000	11,237,400	△ 1,599,000

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【年齢構成】（介護予防含）

（令和7年3月31日）

	64歳 以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	計	平均 年齢	最低 年齢	最高 年齢
男			1	1		1	2		5	87歳	70歳	93歳
女				3	6	4	3	1	17	85歳	75歳	95歳
計	0	0	1	4	6	5	5	1	22	85歳		

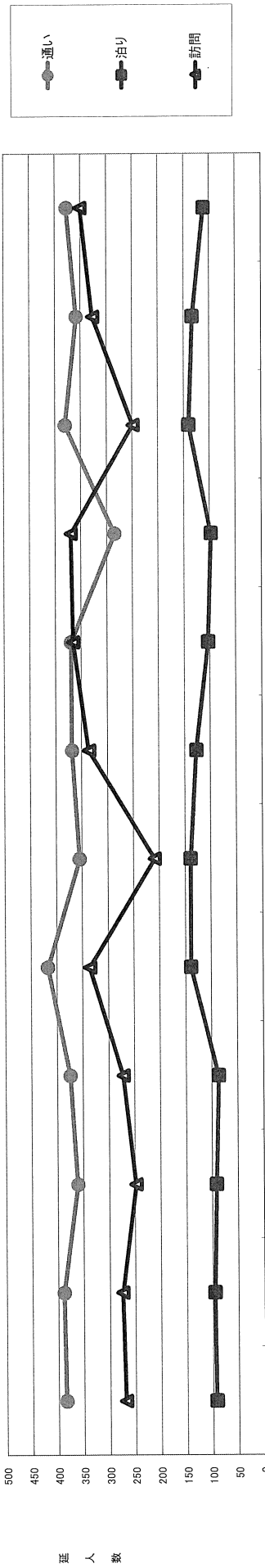
【行事実績】

実 施 年 月		行 事 名	内 容
令和6年	4月	セルフうどん(4/18)	昼食時に好みのものを選択しながら食事を楽しむ
	5月	ライブキッチン(5/24)	昼食時に実演しながら食事を楽しむ
	6月	あじさいドライブ(6/14)	野市あじさい街道へドライブ
	7月	七夕(7/6)	七夕ゲーム等を実施し季節を味わってもらう
	8月	夏祭り(8/9)	装飾及び催し、食事を通して夏祭りの雰囲気を感じてもらう
	9月	敬老会(9/20)	催しやクイズ等を行いお祝いをする
	10月	コスモス見物とドライブ(10/13)	越知の宮の前公園に出かける
	11月	みかん狩り(11/8・11/12)	弁当持参して香北町山北にみかん狩りに行く
		回転ずし(11/19)	好みのネタを選び、食事を楽しむ
	12月	クリスマス会(12/25)	催しやプレゼント、食事等を楽しむ
令和7年	1月	初詣(1/7～1/9)	郡頭神社へ初詣に外出する
		鍋(1/23)	普段と違った食事を楽しんでもらう
	2月	節分(2/3)	ゲーム形式で季節を味わう
		ケーキバイキング(2/21)	好みのものを選び、食事を楽しむ
	3月	ひな祭り(3/3)	飾り付けや食事等で季節を感じてもらう

【小規模利用者構成表】

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計／平均															
	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数	実数	延数	訪問 延数													
支援1	1	8		21	1	8	23	1	9	21	1	3	2	46	43	1	15	14	2	15	11	5	2	25	15	18	2	15	11	8	2	18	15					6	44	0	118											
要介護1	2	36	23	6	2	52	3	66	55		3	72	55																								24	360	279	55												
要介護2	5	59		48	6	86	50	7	88	58	9	121	5	83	10	159	45	130	10	145	51	127	12	174	55	162	12	151	26	163	12	123	40	157	11	154	52	87	10	142	32	129	114	1,529	342	1,297						
要介護3	10	201	32	134	8	163	18	138	7	140	22	116	7	126	19	104	8	155	40	129	8	97	18	11	8	102	23	107	7	117	21	128	6	67	6	131	6	86	21	103	7	125	54	97	7	136	51	115	89	1,515	325	1,313
要介護4	3	75	38	60	3	80	41	62	3	59	15	56	2	48	8	62	2	49	12	56	3	95	57	59	3	78	39	62	3	77	42	57	5	80	41	74	5	123	53	59	6	107	44	111	6	100	29	107	44	971	419	825
要介護5	1	6																																										1	6	0	0					
合計	22	385	93	269	20	389	96	275	21	361	92	248	22	375	87	272	23	418	140	336	24	370	104	366	25	285	98	370	24	381	141	249	25	359	134	327	24	378	112	351	278	4,425	1,365	3,608								
平均要介護度	2.7			2.5			2.4			2.3			2.3			2.5			2.5			2.5			2.6			2.6			2.6			2.7			2.8			2.5												
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
利用者計	22	385	93	269	20	389	96	275	21	361	92	248	22	375	87	272	23	418	140	336	24	370	104	366	25	285	98	370	24	381	141	249	25	359	134	327	24	378	112	351	278	4,425	1,365	3,608								
事業日数	30			31	30		31	31	31	31	30	30	31	31	30	30	30	31	31	31	31	30	28.0	24.3	24.3	28.0	24.3	24.3	24.9	24.9	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0					
1日平均利用者数	24.9			24.5	23.4		23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7	23.7				
稼働率	93.2%			79.6%	76.4%		83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%			

小規模多機能居宅介護 活動別利用者 延人数推移



7. デイサービスセンター サイタ（通所介護／第1号通所事業）

重点目標

- (1) 目標稼働率 81% ⇒ 実績 75.6%

入院や施設入所に伴う利用中止が相次いだことに加え、新規利用者の獲得も思うように進まなかったため、稼働率は伸び悩み、目標としていた水準には達しなかった。地域の高齢化や介護ニーズの多様化に対応するためには、関係機関との連携強化や情報発信の工夫が必要である。今後は、早期の利用者確保に向けた取り組みと柔軟な受け入れ体制の整備を進め、安定した稼働の確保を目指していく。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

居宅介護支援事業所など関係機関への訪問を月2回のペースで実施し、広報誌やパンフレットを用いて情報提供やサービス内容のPRを行った。担当ケアマネジャーには利用者の状況をこまめに電話で連絡し、信頼関係の構築に努めた。見学者には事業所の特徴を丁寧に説明し、サービス利用へとつながるよう対応した。体験利用者は年間28名で、そのうち19名が新規契約につながった。

- (3) 人材育成に関する取り組みについて

新人2名へのOJTを実施し、新人育成マニュアルを活用して、指導者と新人が安心してスキルアップできる体制を整えた。新規採用者には毎月の面談を実施し、進捗状況や課題を共有しながら指導を続けている。外部研修には延べ9名が参加し、36回の参加実績があった。内部研修では、動画を活用して全職員が月1～3回の学習機会を確保することができた。また、経営改善計画やビジョンクエストフォーラムを通じて職員間のコミュニケーションを深め、デイサイタの目指す方向性を共有することができた。

- (4) 認知症に関する取り組みについて

外部研修への参加や認知症関連の書籍購入を通じて、職員全体の知識や介護スキルの向上を図り、それぞれの症状に応じた認知症ケアに取り組んでいる。統一基本ケアセミナーの動画視聴は全職員が完了し、新人職員には今後視聴を促進する予定である。認知症対応方法については、日々のミーティングで適宜議論を行うとともに、生産性向上委員会で担当利用者について必ず話し合う場を設け、前向きな解決策を模索している。

- (5) 機能訓練に関する取り組みについて

個別機能訓練計画に基づき、機能訓練指導員と介護職員が協力して身体機能および生活機能の維持・向上を目指した訓練を実施し、利用者が在宅生活を継続できるよう支援している。また、ご自宅の状況や身体状況を詳細にアセスメントし、「やりたいことシート」を活用して、一人ひとりがやりたいことを実現できるよう支援している。

(6) 災害時等に関する取り組みについて

BCP 研修や消防避難訓練では、災害時の非常用具（カセットコンロ、非常用バッテリー、コンプレッサー等）の使用方法も訓練している。震度5以上の地震発生時には、公式LINE アカウントを通じて連絡を行うことを全職員に周知し、登録を促している。また、送迎中の地震発生時の対処法を再度周知し、送迎車に常備している緊急時対策用品の確認も行った。

サービス内容

(1) 食事

利用者の栄養状態や身体状況、嗜好を考慮した上で、季節や行事に合わせた趣向を凝らした食事を提供した。食事の提供に際しては、配膳方法やタイミングを日々調整し、利用者ができるだけおいしく食事を楽しめるように工夫した。

(2) 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対して、必要に応じて入浴支援を行った。季節ごとに飾り付けや入浴剤を使用することで、入浴の時間に変化を持たせ、少しでも楽しんでもらえるよう工夫した。また、入浴時の安全にも配慮し、利用者が安心して入浴できるようサポートした。

(3) 排泄

排泄の自立を促すため、利用者一人ひとりの排泄パターンに合わせた適切なトイレ誘導を実施している。日々の水分摂取量や排泄状況についても、家族と情報共有を行い、排便コントロールに努めている。便秘や下痢などの体調変化が見られた際には、看護職員と連携して適切な処置を行う体制を整えており、利用者が安心して日常生活を送れるよう支援している。

(4) 機能訓練

日常生活を送る上で必要な身体機能の低下を防ぐため、機能訓練指導員が個別の機能訓練計画を作成し、利用者の状態に応じて小集団（概ね5人以下）または個別での生活リハビリや運動訓練を実施している。訓練は、利用者が無理なく継続できるよう工夫しながら行っており、在宅生活の維持と自立支援につなげている。

(5) 健康状態の確認

送迎時には対応職員が、入館後は看護職員が健康状態を確認し、バイタルチェックや体力測定で日々の健康管理を実施した。体調不良時には医療機関と連携して対応している。食堂ホールでは次亜機能水を使った加湿・消毒を継続した。家庭での変化については、連絡帳や送迎時の会話を通じて家族と情報共有を行った。

(6) 送迎サービス

家庭の事情や心身の状態により送迎を希望する利用者には、時間や配車の調整を行い、可能な限り柔軟に対応した。午後からの利用や早めの送りにも個別に対応し、利用者が安心して通所できる環境づくりに努めた。

令和6年度加算取得一覧表

デイサービスセンター サイト

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
サービス提供 体制加算Ⅰ	22	611	6,029	65%	2,032,800	1,326,380	△ 706,420
個別機能訓練 加算ⅠⅠ	56	598	5,792	96%	3,376,240	3,243,520	△ 132,720
個別機能訓練 加算Ⅱ	20	598	598	98%	122,200	119,600	△ 2,600
入浴加算	40	493	4,570	※2		1,828,000	
科学的介護 加算	40	611	611			244,400	
送迎減算	△ 47	105	235			△ 110,450	
					5,531,240	6,651,450	△ 841,740

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

(日曜日、年末年始は閉所のため、開所日の308日で計算している。30名定員)

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【年齢構成】（総合事業含）

（令和7年3月31日）

	64歳 以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	計	平均 年齢	最低 年齢	最高 年齢
男			1	1	3	4	3		12	79.3歳	74歳	94歳
女			1	4	9	14	23	6	57	88.11歳	73歳	101歳
計	0	0	2	5	12	18	26	6	69	87.5歳		

【行事实績】

実 施 年 月		行 事 名	内 容
令和6年	4月	テーブルゲーム	サイコロゲーム
		体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作
	5月	制作レク	壁画制作
		園芸レク	実施せず
		体力測定	月1回実施
	6月	テーブルゲーム	都道府県クイズ、ことわざクイズ
		体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作
	7月	体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作
		テーブルゲーム	イラストゲーム、ジェスチャーゲーム
		夏祭り	輪投げ、ヨーヨー釣り
	8月	体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作
		ミュージックケア	音楽に合わせた体操
		テーブルゲーム	ことわざゲーム、一文字変えようゲーム
	9月	体力測定	月1回実施
		敬老会	職員余興等
		制作レク	壁画制作
		テーブルゲーム	色連想ゲーム、物覚えゲーム
	10月	テーブルゲーム	土佐弁クイズ、サイコロゲーム
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作
		秋の歌集レク	歌を皆さんで歌う

令和6年	11月	テーブルゲーム	言葉当てクイズ、ことわざクイズ
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作
		持ち帰りレク	実施せず
	12月	冬の歌集レク	歌を皆さんで歌う
		体力測定	月1回実施
		クリスマス会	余興、サンタの衣装でプレゼント配り
		壁画制作	壁画制作
令和7年	1月	お正月クイズ	正月にちなんだクイズ
		初釜	お茶と和菓子
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作
	2月	節分	鬼退治
		ミュージックケア	音楽に合わせた体操
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作
	3月	春の歌集レク	歌を皆さんで歌う
		体力測定	月1回実施
		テーブルゲーム	色の連想ゲーム、ことわざクイズ
		制作レク	壁画制作

【デイサービスセンターサイト利用者構成表】

介護予防	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
要支援1	1	4	1	4	1	3	1	4	1	4	1	4	1	4	1	3	2	10	3	11	3	14	3	16	19	81
要支援2	8	55	9	73	9	55	9	69	9	57	10	71	10	73	11	75	10	68	12	86	12	91	11	88	120	861
合 計	9	59	10	77	10	58	10	73	10	61	11	75	11	77	12	78	12	78	15	97	15	105	14	104	139	942
平均要支援度	1.9		1.9		1.9		1.9		1.9		1.9		1.9		2.0		1.9		1.9		1.9		1.8		1.9	

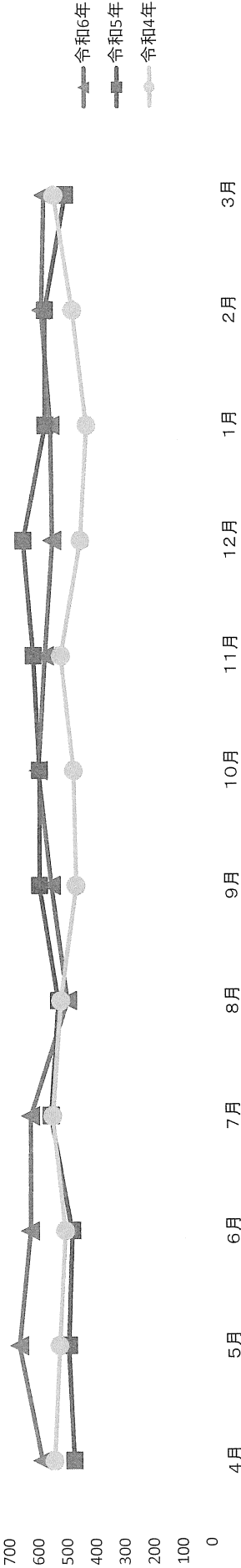
介護保険	要介護1	26	238	28	277	25	250	27	240	22	181	21	196	23	235	23	226	23	222	23	183	22	205	24	228	287	2,681
	要介護2	16	194	16	202	18	203	17	215	15	170	16	174	14	174	12	154	12	136	12	154	10	125	12	140	170	2,041
	要介護3	6	56	7	64	8	71	9	65	7	43	9	64	8	46	7	55	7	49	8	48	8	79	6	44	90	684
	要介護4	2	24	2	27	2	24	2	13	2	16	2	20	3	39	3	42	3	37	5	45	4	43	4	41	34	371
	要介護5	2	15	2	16	2	17	2	15	2	19	2	14	2	16	2	9	2	14	2	14	2	15	2	6	24	170
	合 計	52	527	55	586	55	565	57	548	48	429	50	468	50	510	47	486	47	458	50	444	46	467	48	459	605	5,947
平均要介護度		1.8		1.8		1.9		1.8		1.9		1.9		1.9		1.9		1.9		2.0		2.0		1.8		1.9	

その他(総合事業含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

利用者計	61	586	65	663	65	623	67	621	58	490	61	543	61	587	59	564	59	536	65	541	61	572	62	563	744	6,889
------	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-------

事業日数	26		27		25		27		26		25		27		26		25		24		24		26		308
1日平均利用者数	22.5		24.6		24.9		23.0		18.8		21.7		21.7		21.7		21.4		22.5		23.8		21.7		22.4
稼働率	75.1%		81.9%		83.1%		76.7%		62.8%		72.4%		72.5%		72.3%		71.5%		75.1%		79.4%		72.2%		74.6%

デイサービス サイト 利用者 延人数推移



8. ショートステイセンター サイタ

(基準該当短期入所生活介護 / 基準該当介護予防短期入所生活介護)

重点目標

- (1) 目標稼働率 98% ⇒ 実績 104.7%

昨年度に引き続き目標稼働率を達成することができた。昨年度と同様にショートステイの依頼は多く、高知市内におけるベッド数の減少も高稼働の一因となった。収入実績も目標比 107.1%となり、安定した運営につながった。今後も地域ニーズを的確に捉え、サービスの質を維持しながら、安定した運営を継続していく。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

ショートステイの依頼は多いが、ベッド数が6床と限られているため、スウィート・ハート・ホームのショートステイとの連携を強化し、他事業所への利用者流出を防いでいる。

急なキャンセルに対しては、迅速な対応が求められるため、事前にキャンセル時の連絡体制を整備し、キャンセル待ちの方に早急に連絡を取るよう努めている。

- (3) 認知症に関する取り組みについて

外部研修への参加や認知症関連の書籍購入を通じて、職員全体の知識や介護スキルの向上を図り、それぞれの症状に応じた認知症ケアに取り組んでいる。統一基本ケアセミナーの動画視聴は全職員が完了し、新人職員には今後視聴を促進する予定である。認知症対応方法については、日々のミーティングで適宜議論を行うとともに、生産性向上委員会で担当利用者について必ず話し合う場を設け、前向きな解決策を模索している。夜勤者に関しては、日誌を活用して情報を共有することで、利用者の日々の変化に対して柔軟に対応することができている。

- (4) 災害時等に関する取り組みについて

BCP 研修や消防避難訓練では、災害時の非常用具（カセットコンロ、非常用バッテリー、コンプレッサー等）の使用方法も訓練している。震度5以上の地震発生時には、公式LINE アカウントを通じて連絡を行うことを全職員に周知し、登録を促している。夜間帯は一人で業務を行うため、緊急時の対応方法をマニュアル化し、目につく場所に置くなどの工夫をしている。

サービス内容

(1) 食事

利用者の栄養状態や身体状況、嗜好を考慮した上で、季節や行事に合わせた趣向を凝らした食事を提供した。食事の提供に際しては、配膳方法やタイミングを日々調整し、利用者ができるだけおいしく食事を楽しめるように工夫した。

(2) 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対して、必要に応じて入浴支援を行った。季節ごとに飾り付けや入浴剤を使用することで、入浴の時間に変化を持たせ、少しでも楽しんでもらえるよう工夫した。また、入浴時の安全にも配慮し、利用者が安心して入浴できるようサポートした。

(3) 排泄

排泄の自立を促すため、利用者一人ひとりの排泄パターンに合わせた適切なトイレ誘導を実施している。日々の水分摂取量や排泄状況についても、家族と情報共有を行い、排便コントロールに努めている。便秘や下痢などの体調変化が見られた際には、看護職員と連携して適切な処置を行う体制を整えており、利用者が安心して日常生活を送れるよう支援している。

(4) 機能訓練

日常生活に必要な身体機能の減退を防ぐため、生活リハビリや運動等の訓練を行っている。デイサービスのプログラムに参加していただくことと、自宅での生活状況を聞き取ることによって、個別に必要な訓練を実施することができた。

(5) 健康状態の確認

送迎時には対応職員が、入館後は看護職員が健康状態を確認し、バイタルチェックや体力測定で日々の健康管理を実施した。体調不良時には医療機関と連携して対応している。食堂ホールでは次亜機能水を使った加湿・消毒を継続した。家庭での変化については、アンケートや送迎時の会話を通じて家族と情報共有を行った。

(6) 送迎サービス

家庭の事情や心身の状態により送迎を希望する利用者には、時間や配車の調整を行い、可能な限り柔軟に対応した。

令和6年度加算取得一覧表

ショートステイセンター サイト

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
サービス提供 体制加算Ⅱ	18	358	2,292	105%	394,200	412,560	18,360
生産性向上 加算Ⅱ	10	358	358		35,800	35,800	0
送迎加算	184	350	1,167	※2		2,147,280	
緊急受入 加算	90			※2		0	
					430,000	2,595,640	18,360

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【 ショートステイセンターサイト利用者構成表 】

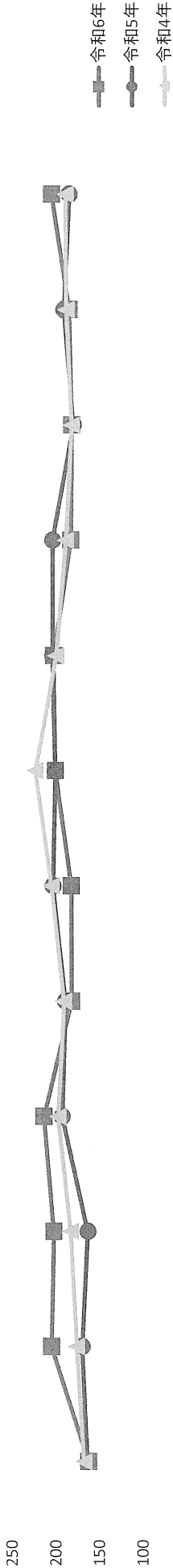
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
介護予防	要介護1																								0	0
	要介護2																								0	0
	合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均要支援度		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

介護保険	要介護1	8	45	13	83	9	57	12	45	6	21	7	24	7	36	11	43	9	32	10	36	8	37	8	29	108	488
	要介護2	8	43	9	47	10	77	14	83	11	65	10	66	12	80	9	72	12	76	9	56	12	69	11	77	127	811
	要介護3	7	34	6	44	5	37	7	50	9	65	7	48	5	52	4	40	4	49	5	56	5	52	5	69	69	596
	要介護4	4	31	3	23	2	18	2	18	2	14	2	13	2	12	2	29	1	8	3	16	2	16	2	19	27	217
	要介護5	2	10	2	8	3	13	2	17	2	16	4	30	3	19	3	17	2	16	2	16	1	9	1	9	27	180
合 計		29	163	33	205	29	202	37	213	30	181	30	181	29	199	29	201	28	181	29	180	28	183	27	203	358	2,292
平均要介護度		2.5		2.2		2.3		2.4		2.7		2.8		2.5		2.5		2.4		2.6		2.4		2.5		2.5	

利用者計		29	163	33	205	29	202	37	213	30	181	30	181	29	199	29	201	28	181	29	180	28	183	27	203	358	2,292
------	--	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-------

事業日数	30	31	31	30	31	31	30	30	31	31	30	31	31	28	31	365
1日平均利用者数	5.4	6.6	6.7	6.9	5.8	6.0	6.4	6.7	5.8	5.8	6.0	6.4	6.5	6.5	6.5	6.3
満床率	90.6%	110.2%	112.2%	114.5%	97.3%	100.6%	107.0%	111.7%	97.3%	96.8%	108.9%	109.1%	109.1%	104.7%		

ショートステイ サイト 利用者 延人数推移



10. ほおっちょけん相談窓口

重点目標

(1) ほおっちょけん相談窓口の活性化について

2 ヶ月に 1 回の頻度で困りごと相談委員会を開催し、相談の有無や内容、対応状況などを確認し、必要に応じて協議を行っている。

令和 6 年度は地域住民からの相談が 1 件あった。ケアマネージャーに関する内容であったため、担当のケアマネージャーに連絡し、相談内容を伝えた。今後も地域住民の声に丁寧に耳を傾けながら、迅速かつ的確な対応に努めていく。また、必要に応じて関係機関と連携し、地域全体で支え合える体制づくりを進めていく。